

岐阜県科学技術振興センター管理運営業務実施要領

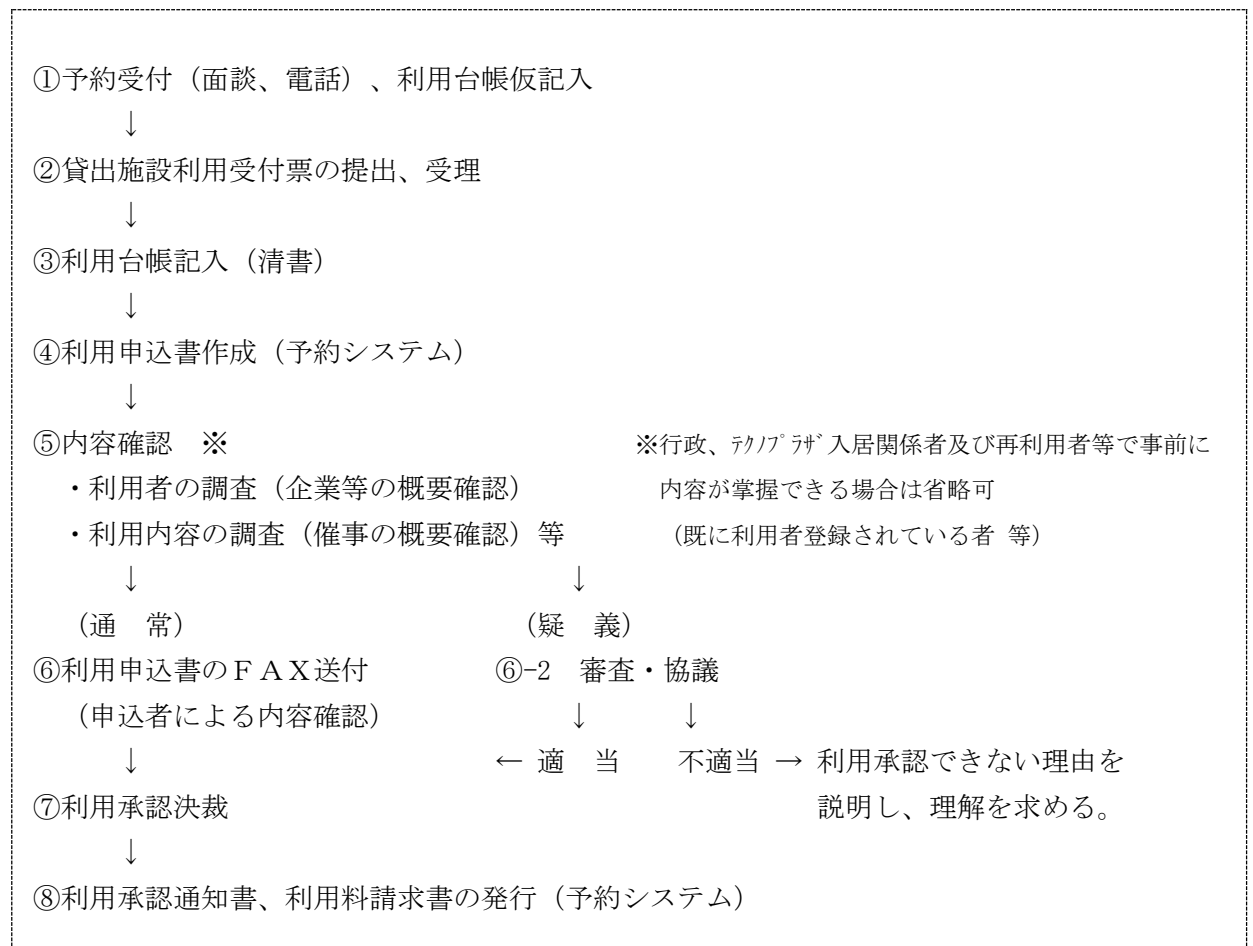
要領 1	施設貸出業務取扱要領	1
要領 2	ホール等管理運営業務実施要領	1 1
要領 3	電気設備（自家用電気工作物）保安管理業務実施要領	2 1
要領 4	電話設備保守点検業務実施要領	2 3
要領 5	設備保守点検業務実施要領	2 4
要領 6	冷温水発生機保守点検業務実施要領	3 7
要領 7	消防設備保守点検業務実施要領	4 0
要領 8	昇降設備保守点検業務実施要領	4 2
要領 9	自動ドア保守点検業務実施要領	5 3
要領 1 0	ホール吊物・照明装置保守点検業務実施要領	5 4
要領 1 1	清掃業務実施要領	6 0
要領 1 2	映像音響設備保守点検業務実施要領	1 2
要領 1 3	警備業務実施要領	6 4
要領 1 4	受付案内業務実施要領	6 9

要領 1

岐阜県科学技術振興センター施設貸出業務取扱要領

I 予約受付

◎ 事務の流れ



1 予約受付

(1) 受付時間・場所

- ・ 窓口の場合、原則として開館日の午前9時から午後5時までの間に受付する。
来館のほか、電話でも受付を行うが、初めての利用者はなるべく来館での受付で対応する。
(来館できない者については、主催者及び催し物の概要のわかる資料を添付していただく。)
→ 後述(8)参照

(2) 受付期間

施設によって受付開始、締め切り時期が異なるので留意すること。

- ① プラザホール、特別会議室、AV会議室、及び付属して利用する他の施設の場合
利用希望日の12ヵ月前の月の初日(1日)から受付を開始する。(1日が休館日の場合はその翌日、1月は4日から受付開始。インターネット予約は初日9:00から可能)

[例：平成30年5月20日の利用であれば、平成29年5月1日から受付開始]

② 第1会議室、第2会議室、第3会議室、研修室の場合

利用希望日の6ヵ月前の月の初日(1日)から受付を開始する。(1日が休館日の場合はその翌日、1月は4日から受付開始。インターネット予約は初日9:00から可能)

[例：平成30年5月20日の利用であれば、平成29年11月1日から受付開始]

③ 受付期間の例外

□ 以下の場合、前述の受付開始に先立って受付を行うこととする。

ア 県または財団が主催、共催する事業(ただし、受付開始の初日の受付とする。)

イ 国際的、全国的又は全県的な会議、催し物等に利用する場合

□ 長期継続の利用の場合は、受付開始時期を遅らせることとする。

・機会均等の観点から、4日以上(休館日除く)継続して利用する場合は利用日初日の3ヵ月前の月の初日から受付を開始する。

④ 予約の締め切りについて

ア プラザホール

照明、音響、映像システムの操作を要しない催し物(各種展示会等)を除き、原則として利用日の1ヵ月前に予約を締め切る。

イ その他の施設

利用日の1週間前まで受付する。

※ただし、実際に直前に申込があった場合は、内容を確認した上で、問題のないもの(行政及びテクノプラザ入居関係者、同様の催し物を過去に実施した者、文化団体及びサークルの行事等)については、前日まで受け付ける。このとき、予約受付と同時に貸出施設利用受付票を提出していただく。

(3) 予約受付の方法

① 来館の場合

来館者に面談して貸出施設利用受付票を記入していただく。

② 電話の場合(初めての申込者にはなるべく来館での受付をお願いする。)

貸出施設利用受付票を送付し、記入後返送していただく。記入漏れ等については、適宜電話等で確認する。

※ 利用希望日が予約申込みから3ヵ月以上先である場合は、貸出施設利用受付票を提出していただいた後、利用日の1ヶ月前を目途に利用申込書を作成し内容を確認していただく。(早めに処理をし過ぎると、変更等が生ずる場合があるので注意すること)

③ インターネットの場合

予約システムにより、インターネットからいつでも申し込みが可能である。

※常に予約システムで申し込み状況を確認し、受理と同時に利用台帳に記入すること。

これを忘れるとダブルブッキングの危険性があるため、注意すること。

(4) 貸出施設利用受付票記入要領

○受付票の項目別留意事項

1 利用者 ・昼間と夜間で連絡先が異なる場合はないか。勤務先、自宅のどちらが連絡先となるか十分確認する。

・予約者、利用者、請求先の名義人(利用料納入義務者)が異なる場合

に留意すること。

- 2 使用する施設名 ・収容人数、用途に合っているか。
- 3 使用年月日/時間 ・利用日の受付を開始しているか。(前述の受付期間参照)
・休館日でないか。(日、祝日、12月29日～翌年1月3日)
・他の予約が入っていないか。(前後の利用者の利用予定時間に注意する。)
・開館時間外の利用はないか。
・プラザホールを利用する場合、午前と午後で利用者が異なる、前日又は翌日に他の利用者があるなど、仕込み、本番、撤収時間の余裕があるか。
- 4 使用附属備品 ・他の利用者と備品の利用等がバッティングしないか。(特別会議室、会議室1、2、3、研修室の備品は1部のものを除き共有である。)
- 5 利用予定人数 ・入場予定者数は定員以内か。
(各施設最大利用人数は、別紙貸出施設利用料一覧などを参照。)
- 6 使用目的 ・条例、規則等の規定に合致する利用内容か。
- 7 案内板表示 ・20文字以内(表示システムの容量)か。
ただし、プラザホールの場合は制限なし
- 8 使用者側の準備 ・持ち込み機材はあるか。ある場合は定格消費電力量(単位ワット)を記入する。
- 9 延納申請希望 ・前払いできない場合は延納扱いとするため、希望有にチェックを入れる。
→ 後述(6)参照

(5) その他予約受付にあたっての留意点

① 利用日時が重なった場合

利用日時が重なった場合で日程変更等での調整が不可能な場合は、先着順とする。

② 飲食について

プラザホールにおけるパーティー等の利用は不可。ただし、催し物が昼食時をはさんで行われる場合で、弁当等の食事場所として利用する場合は認める。

会議室等も同様に扱うが、できるだけカフェテリアの利用などで対応していただくように依頼する。

※利用に伴い発生したゴミ、不燃物等は利用者の責任において持ち帰っていただくように願います。

③ 喫煙について

指定した場所以外館内は禁煙であることを説明する。

④ 物品販売等について

施設内での物品販売等の行為は以下の例外を除き禁止である。

ア 国、地方公共団体が主催、共催、後援する場合で、非営利目的のもの。

イ プラザホールで実施する展示会・見本市等で、施設内で現金の授受が行われない場合。

ウ 当日の催事に関連するプログラム、パンフレット、出演者の著作物等の販売やオペラグラス、イヤホン等の貸出しを行う場合。(プラザホールにおける同時通訳用受信機(レ

シーバー)は、ホールの備品にないため、すべて主催者で用意させること。

※レシーバー：SONY SX-2130

⑤ 「仮置き」予約について

同一の催し物において、複数日での予約(いわゆる「仮置き」)は、他の施設利用者の利用機会を損なうため、受付しない。必ず日程を確定してから予約していただくようお願いする。

やむを得ず受付する場合の取り扱いは以下のとおりとする。

ア 利用期日が確定する日を必ずお聞きし、確定次第連絡していただくようにする。

イ 他の催し物と期日が重なった場合は、連絡のうえ他の催し物を優先させることがあることをお伝えする。

(6) 延納、後納及び減免について

① 利用料の延納を希望する場合

原則として国、地方公共団体、行政関係団体または入居関係者に限って延納を認めることとし、貸出施設利用受付票記入時に延納申請希望有りとする。

やむを得ない事情で延納支払しか出来ない場合は、会議内容等確認する。

→ 延納申請書を予約システムで作成する。利用申込書と同時に出力する。

② 利用料の後納を希望する場合

支払い方法として、口座振替を希望する場合のみ後納扱いとして処理する。

《口座振替の手続方法》

- i 別添の利用者登録申込書及び後納申請書を記入、提出していただく
- ii 別添の口座振替依頼書(はがき)を記入、投函していただく
- iii iiの口座振替登録済みの連絡がシステム管理者の電算システムから入る
- iv 予約システムに登録されている支払方法のデータを「口座振替」に変更する

③ 利用料の減免を希望する場合

岐阜県科学技術振興センター条例第4条第4項にもとづき、特に必要と認めたものについて、利用料減免申請書を1部提出していただく。

(7) 貸出施設利用台帳の記入

貸出施設利用受付票から利用台帳に予約状況を記入する。

また、インターネットによる利用申込を受理した場合も台帳に記入する。

※予約システムでは、インターネットで空室情報を公開しているため、台帳の記入漏れがあると重複予約の恐れがあるため、予約システムでの受付登録と台帳との整合に注意すること。

(8) 利用者の調査等

初めての利用者については、主催者及び催し物の概要がわかる資料等(例：企業・愛好会などの概要案内・会則、他の公共施設での利用実績、催し物の企画書・概要書など)を添付していただく。(ホームページ等が開設されており、そこで確認することができれば代用可能)

《その他の留意事項》

- ・過去に条例、規則、内部諸規定等に違反した者でないか。
- ・暴力団関係者でないか。

・利用者自身に問題はないが、利用を許可することにより他の紛争等を誘発する恐れはないか。

(9) 利用承認事前審査

① 審査の内容

提出のあった貸出施設利用受付票（または作成した利用申込書）をもとにして、利用承認の適否について、事前に審査を行う。

② 審査にあたっての留意事項

- ・主催者、催し物の内容が条例、規則、関係法令に抵触するものではないか。
- ・主催者、催し物の内容が科学技術振興センターにふさわしいものであるか。
- ・施設、設備、備品の機能及び数量等で対応可能な催し物であるか。
- ・催し物の予定時間の前後の状況（仕込み、撤収の所要時間）から見て、十分な余裕があるか。

③ 問題のあるものの対応

資料等の提出または利用形態の変更等が必要となるものについては、主催者と連絡を取り、調整した後、再度審査することとする。

施設利用が不相当と判断された場合は、予約受付用紙に審査結果を添付し、利用を許可できない旨を知らせる。

利用申込書作成後に施設利用を断る場合の留意事項

- ・威圧的な態度で臨まない。
- ・施設利用ができない理由を明確にする。
- ・揚げ足をとられるような発言をしないこと。

2 利用承認

(1) 利用申込書の回覧

利用申込書または延納申込書の添付を確認し、施設貸出責任者まで回覧する。

(2) 延納、後納及び減免希望がある場合

利用申込書に利用料延納申請書、利用料後納申請書または利用料減免申請書を添付し承認を受ける。

3 調定

調定決議書及び収入金調書は作成しない。利用申込書の承認決裁が行われ、予約システムで承認行為が行われた時点で調定されたとみなす。

(1) 承認行為のタイミング

利用承認決裁後、予約システムにおいて「承認行為（許可）」を行うのは、当該利用日の20日前としている。（承認決裁が20日以内に行われておれば、当該決裁日）

これは、納期日が当該利用日となるよう考慮したものである。

- ・利用日が納期限であることで窓口納付が行われる。（納期限内の催促もできる）
- ・納期限と利用日に格差がありすぎると、利用料支払い後に利用内容の変更があった場合に手続きが煩雑となる。

(2) 利用料の納期日

利用料の納期日は、利用承認書の承認日（決裁日）の20日後（土・日・祝祭日にあ

たるときはその直前の銀行営業日) または利用日当日のいずれか早く時期が到来する日付とする。

ただし、利用料延納申請があった場合は、延納は利用日から20日後の日付とする。
→後納扱いである口座振替は、毎月12日に指定口座から引き落とされる。処理についてはメールで指示有り。

(3) 請求書の作成

請求書は予約システムで作成する。

出力後、利用日、送付先、納期日、金額等を確認し、代表印を押印する。

県関連は、住所印を押印する。

4 利用承認通知書、請求書発送

(1) 利用承認通知書の取り扱い

- ・利用承認通知書は予約システムで作成する。作成時期は上記(3調定)参照
- ・利用承認通知書(または延納承認通知書添付)に請求書、説明文書を同封し、利用者あてに送付する。(手渡しできる場合は手渡しする。ただし、前述の納期限があるため承認後すぐに渡せる場合に限る。)
- ・利用者と請求先(請求書宛名)が異なる場合は、請求書にも利用承認通知書(写)を添付し、支払い手続きが遅延することのないよう配慮する。

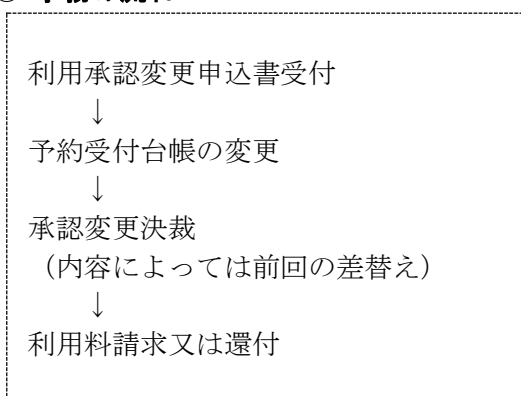
(2) 承認後の利用申込書の取り扱い

利用承認決裁後、申込書決裁欄の承認通知・納入通知欄に日付を記入し、利用日順にホルダーに綴じて保管する。

この利用申込書は、利用料の納付時の証拠書類となる。

II 利用の変更

◎ 事務の流れ



1 利用の変更の取り扱い

(1) 利用承認変更申込書の提出

利用内容を変更しようとするときは、電話、窓口等で申し出ていただき、その内容を予約システムに入力して利用承認変更申込書を作成する。

なお、変更の際は以下の事項に留意すること。

- ① 変更が可能であるか事前に相談していただく。
 - ② 変更後の内容を確認していただく。
 - ③ 発行済みの請求書を誤って使わないよう破棄していただく。（納付手続き前ならば差替える）
- (2) 変更手続き
- ① 予約管理台帳を訂正する。
 - ② 回覧の必要性は変更の内容を勘案して判断する。
 - ③ 変更申込書は、既に保存してある利用申込書の前に添付して利用日順にホルダーに綴じて保管する。

2 キャンセルの取り扱い

(1) 利用承認変更申込書の提出

交付済の利用承認通知書及び請求書を添付して利用承認変更申込書を提出していただく。

この場合は、手書様式で作成する。（予約システムでは作成しない。）

(2) キャンセルの手続き

- ① 施設貸出責任者までの決裁を受ける。
- ② 予約管理台帳から抹消する。
- ③ 予約システムに登録されてあるデータを「キャンセル」処理する
- ④ 回覧後の変更申込書は、既に保存してある利用申込書の前に添付して利用日順にホルダーに綴じて保管する。
- ⑤ 既に納入された利用料は条例施行規則第9条により、利用料返還申請書の提出時期に応じて対処する。ただし、利用者の責に帰さない理由で施設利用ができなくなった場合は、全額返還する。（振込手数料は利用者負担）

III 利用指導

1 主催者との打ち合わせ

(1) 打ち合わせの必要な施設、催し物

- ① プラザホールを利用する場合は、基本的に全ての催し物について打ち合わせを行う。
- ② その他の施設の場合は、特に必要にと思われるとき（特別な設備備品を利用するもの、会場設営が特殊なものなど）に、打ち合わせを行う。

(2) 打ち合わせの時期

打ち合わせは、利用予定日の2週間前を目途に行う。

(3) 打ち合わせの担当職員

映像システムや舞台設備（照明、音響設備の利用を伴うもの）を利用する催し物の場合は、ホール管理を委託する場合、必要に応じて同席していただく。

プラザホールの同時通訳設備を利用する場合は、同時通訳用受信機（レシーバー）がホール備品にないため、主催者に手配をお願いする。

(4) 打ち合わせ内容の留意事項

① ホールの設備操作

照明、音響、映像システムなどの操作・演出については、可能な限りホール係員で対応を実施。

② 利用時間

- ・仕込から撤収まで、時間内で対応していただくように徹底する。
(講演会等であっても、音響、照明等の仕込に1時間程度は必要。)
- ・入館、準備、リハーサル、開場、開演、撤収、退館の各時間を確認し、利用時間を厳守させること。
- ・入館時に、利用許可書(写しでも可)を提示していただく。(顔を見て確認できれば省略可)

③ 控室

主催者の控室等はないため、同時通訳室(会議等で利用しない場合に限る)を利用していただくか、ホールと同時に会議室等を借り上げるなどの方法で対応していただく。

また、貴重品は主催者で管理していただく。

④ 入場人数

各施設の定員を超えて入場させることのないよう注意していただくこと。定員になっても受付している場合は、入場を停止させることもあることをお伝える。

⑤ 飲食、喫煙

- ・各貸出施設において、昼食時等における仕出し弁当などの飲食は可能であるが、パーティー等の利用はできない。
- ・指定する場所以外はすべて禁煙である。

⑥ チケット発券について

- ・チケット発券の有無、発売日程等を伺う。
- ・チケット、チラシ及びパンフレット等には、主催者の連絡先を必ず記入していただく。
- ・指定管理者ではチケット販売は行わない。

⑦ 連絡、警備、受付、貴重品管理等

- ・当日、会場への電話の取り次ぎはしないので関係者への周知をお願いする。
- ・会場整理、不慮の事故等に備えて、警備員等を配置すること。
- ・観客が早くから並ぶなど混雑が予想される場合には、事前に警備計画を提出していただく。
- ・催し物の内容により関係機関への手続きが必要な場合は、事前に利用者に連絡していただく。

各務原北消防署 各務原市蘇原東門町3-49-1 TEL 058-389-1191

各務原警察署 各務原市蘇原中央町2-1-3 TEL 058-383-0110

岐阜保健所 各務原市那加不動丘1-1 TEL 058-380-3002

- ・受付用机は、他の利用者または避難等の障害とならないように設置していただく。
- ・貴重品管理は主催者の責任で行っていただく。
- ・受付は主催者で対応していただく。

⑧ ポスター、看板、チラシ等

- ・指定の場所以外には貼れない。(壁面への粘着による掲示はできないので、特に注意す

ること。) ホール内の壁面はマグネットが可能。

- ・必要に応じて、サインスタンドを貸し出す。
- ・テクノプラザ内でチラシを配布する場合は、指定管理者に了解を得たうえで指定場所で行っていただく。

⑨ 駐車場

- ・観客、会議等催し物参加者には、極力公共交通機関を利用していただくように依頼する。なお、車は来館者駐車場、来館者・職員共同駐車場、北棟職員駐車場に駐車していただくこと。

(駐車場案内用のチラシ又は施設利用案内を事前に渡しておく。)

- ・バスの待機場所は北第2駐車場などを利用する。
- ・主催者の搬入車両などで大型車の駐車が必要となる場合は、必要駐車台数を報告していただくこと。
 - ・会場設営、看板等で外部の業者が入館する場合は、業者名、入館時間を伺うこと。

2 利用の当日

(1) 利用承認通知書の確認

- ① 利用承認通知書を確認のうえ、鍵をお渡しする。
- ② 紛失等により利用承認通知書を提示できない場合は、他に確認できるものを提示していただく。(顔を見て確認できれば省略可)

(2) 利用前

- ① 鍵をお渡しする際に、次の確認を行う。
 - ・利用料が支払われているか
 - ・部屋のレイアウト図及び利用チェックシート
- ② 設備備品、給湯室、ごみ処理方法を説明する。(臨機応変)
 - ・設備備品は、指定管理者もしくはホール係員より利用方法を説明する。
 - ・4階には特別会議室を除き給湯室がないので、5階の財団事務室横の給湯室を利用していただく。なお、お茶の葉は利用者で用意していただく。(給湯室備品については別添のとおり)
- ③ 利用料金の清算を行うため、有料の備品の追加利用数を確認する。
- ④ 準備、撤去作業については、できる限り職員が立ち会うこと。

(3) 利用時

- ・打ち合わせ時に示した留意事項を、再度徹底すること。
- ・緊急時の連絡等ができる責任者の所在を明確にしておく。

(4) 利用後

- ① 当日、追加で利用した備品等については、以下のとおり扱う。
 - ・予約システムで請求書を作成し、施設管理事務室・警備員室で清算していただく。
 - ・予約システムで請求書が作成できない場合、精算と引き替えに「預り書」を発行し、後日予約システムで請求書を作成し、領収書を郵送する。
- ② 利用施設、設備を利用前の状態に戻していただき、利用備品を返却していただく。

- ・会議室の机、いすなどを利用前の状態に戻していただく。
- ・ホール備品等は片付けに立ち会ったうえ、返却していただいた利用備品の数を確認する。
(持ち込み分と貸し出し分がある場合は、特に注意する。)
- ・問題がなければ、利用者に施錠をしていただき、鍵を返却していただく。

別添

科学技術振興センター会議室応接用備品

利用場所	名称	数量	片付け場所
特別会議室	きゅうす	1	特別会議室
	湯飲み茶碗	19	
	茶托	20	
	おしぼり台	18	
	お盆	2	
	やかん	1	
その他会議室等	きゅうす	4	5階湯沸かし室
	湯飲み茶碗	132	
	茶托	134	
	お盆	4	

要領 2

岐阜県科学技術振興センター ホール等管理運営業務実施要領

科学技術振興センタープラザホール及びAV会議室の管理運営業務の詳細について次のとおり定める。なお、当業務に従事する技術者を「業務員」という。

1 プラザホール管理運営業務

(1) 業務員数 基本的に使用開始から終了まで、催し物に応じて対応する。

(2) 業務内容

①舞台管理

- ・舞台設営時（舞台の設置、移動又は撤収を含む。）の指導、助言
- ・美術バトンの操作及び吊物の安全確認

②客席管理

- ・会場レイアウト変更時の会議机及びイスの移動又は撤収の指導、助言

③照明

- ・各舞台パターンに対するホール内の基本的な明かりづくり
- ・客入れ、公演、幕間、終演等の進行の流れに沿った客電、舞台照明等の操作
- ・照明デザイン等のアドバイス

④音響

- ・各マイクの設置（ホール内備品に限る。）
司会者マイク、講演者マイク、エアモニターマイク等
- ・主催者からの要望による、MDによる音声の流し録り

⑤映像

- ・映像システム（プロジェクター、スライド、書画装置等）の準備
- ・映像システムの操作、操作の助言、指導
- ・固定カメラ（2台）の操作
- ・スタジオ型カメラ（1台）の設置及び操作の助言、指導

⑥3カ国語同時通訳設備

- ・3カ国語同時通訳システムの準備

⑦操作の代行

- ・照明、音響、映像システム等設備の操作のうち、ホール利用者が行うものにおいて利用者がやむを得ない理由により操作ができない場合、操作の手伝い

⑧事前打合せ

- ・実際の使用に関する詳細な事項についての事前打合せの開催及びその日程調整

2 AV会議室管理運営業務

(1) 業務員数 催し物に応じた時間帯で1名で対応する。

(2) 業務内容

映像音声送受信装置のセッティングと操作及び利用者に対する操作の助言、指導

要領 3

テクノプラザ本館
電気設備（自家用電気工作物）保安管理業務実施要領

業務内容

- (1) 電気事業法（昭和39年法律第170号。以下「法」という。）第39号第1項の義務を果たすこと。
- (2) 法第42条1項の規定により定める保安規程に基づき、保安管理業務を実施すること。
- (3) 法第43条に基づき、主任技術者を選任し設置すること。
- (4) 電気設備の概要
 - ・ 需要設備容量 受電電圧6600V 受電設備容量1725VA
 - ・ 非常用予備発電装置 150kVA（220V）
- (5) 点検、測定及び試験の基準

電気工作物		点検、測定及び試験項目	定期点検A 1回/月	定期点検B 1回/年	臨時点検
受電設備 (含配電設備・二次変電室設備)	引込線 電線及び指示物	外観点検	○	○	必要の都度
		絶縁体抵抗測定		○※1	
	遮断機 開閉器	外観点検	○	○	必要の都度
		絶縁抵抗測定		○※1	
		継電器の動作試験		○※1	
	変圧器	外観点検	○	○	必要の都度
		絶縁抵抗測定		○※1	
	配電盤及び制御回路	外観試験	○	○	必要の都度
		絶縁抵抗測定		○※1	
		継電器の動作試験		○※1	
		継電器との結合動作試験		○※1	
	接地装置	外観点検	○	○	必要の都度
		接地抵抗測定		○※2	
	蓄電池	外観点検	○	○	必要の都度
		比重測定	1回/年	○	
		液温測定	1回/年	○	
電圧測定		1回/年	○		
電気使用場所の設備	電動機、電熱器 その他の電気機器類	外観点検	○	○	必要の都度
		絶縁抵抗測定		○※1	
	照明装置	接地抵抗測定		○※2	
	配線及び配線器具	温度チェック			
	配電線路の電線等及び支持物	漏洩電流測定	○		

電気工作物		点検、測定及び試験項目	定期点検A 1回/月	定期点検B 1回/年	臨時点検
非常用予備発電装置	ガスタービン及び附属装置	外観点検	○	○	必要の都度
	内燃機関及び附属装置	起動点検	○	○	
	発電機及び励磁装置 接地装置	外観点検	○	○	必要の都度
		絶縁抵抗測定		○※1	
		接地抵抗測定		○※2	
	遮断機・開閉器 その他の電気機器類	受電設備と同じ			受電設備と同じ

- 注(1) 「外観点検」とは、目視により点検を行うことをいう。
- (2) ※1を付した測定及び試験は、特段の理由により代替措置等を講じる場合は、発注者と協議のうえ省略できる。
- (3) ※2を付した測定は過去の実績によってその一部又は全部を省略できる。

要領 4

**テクノプラザ本館
電話設備保守点検業務実施要領**

1 設置機器

デジタル電子式自動交換機	1 式
課金プリンター	1 台
一般内線電話機	1 2 0 台
多機能電話機	2 4 台

2 業務の内容

- (1) 通信設備が円滑に運用できるよう定期巡回、障害駆け付け等に従事し、技術責任を負い保守に必要な部品、材料等の修理取り替えの費用の負担を行う。
- (2) 定期的に通話料金管理装置により電話機ごとの通話度数を集計し、料金メーターリストを作成し、入居団体等に請求をすること。

要領 5

テクノプラザ本館
設備保守点検業務実施要領

(1) 主要設備の保守範囲

名称	仕様	単位	数量	回数	備考
(1) 空調設備保守点検		式	1		
① 冷温水発生機	直炊き吸収式				年6回点検
	・冷暖房 IN、ON、OFF 点検	台	2	6	
	・冷却水系電熱管ブラシ洗浄	台	2	1	
② 水冷式ブラインチラー	チリングユニット				年2回点検
	・冷房 IN、OFF 点検	台	1	2	
③ 冷却塔	冷却塔開放型 120 トン				年2回点検
	・冷房 IN、OFF 点検	台	3	2	120 冷却ト×2 台 125 冷却ト×1 台
④ 氷蓄熱ユニット	蓄熱槽ユニット型 (3 台)	式	1	1	年1回点検
⑤ 空調用ポンプ類	空調用ポンプ	台	10	1	年1回点検
⑥ 圧力容器 (膨張タンク)	膨張タンク 3.5kg/m ²	台	2	1	年1回点検
⑦ 空調機、外調機	ユニット型空気調和器	台	37	1	年1回点検
⑧ ファンコイルユニット					年1回点検
	・天井吊型	台	2	1	
	・天井埋込型	台	2	1	
⑨ パッケージエアコン	パッケージ型空気調和器				年1回点検
	・冷房 IN 点検	台	63	1	室外機 52 台 室内機 64 台
⑩ 送排風機	給排気ファン (1kW 以上)	台	12	1	年1回点検
⑪ フィルター点検清掃	空気清浄装置パネル型フィルタ	枚	184	2	年2回点検清掃
⑫ フィルター取替	メインフィルター (9種類 95枚) 取替フィルター代金を含む	式	1	1	
(2) 空調用自動制御設備保守点検		式	1		
① 設備保守点検					年1回点検
	・熱源制御 (氷蓄熱含)	式	1	1	
	・熱源廻り制御	式	1	1	
	・冷却塔制御	セット	3	1	
	・空調機制御 (7種類)	セット	28	1	
	・ファンコイルユニット制御	セット	9	1	
	・パッケージ制御	受変電室	式	1	1
	・コイルユニット制御		式	1	1
	・ファン発停制御		セット	2	1
	・外気温湿度計測	南棟	式	1	1
	・パッケージエアコン加湿制御	南棟	台	45	1
	・中央監視装置本体、周辺機器		式	1	1
	・集中検針パソコン、周辺機器		式	1	1
	・デジタルポイント・リモコン		式	1	1
② 巡回点検	月1回以上、技術支援含む	人	1	12	月1回以上の巡回点検
(3) 衛生設備保守点検		式	1		
① 衛生ポンプ					年1回点検
	・揚水、給水等ポンプ	台	7	1	
	・汚水、雑排水等ポンプ	台	14	1	
② 電気温水器	ガス湯沸器 10号未満適用	台	26	1	年1回点検
③ ガス給湯器	ガス湯沸器 20号以上	台	3	1	年1回点検

名称	仕様	単位	数量	回数	備考
(4) 空調設備保守点検		式	1		
① テレビ共聴設備	TV 共同受信設備 危機収容箱等	点	11	1	年1回点検
② ITV 設備	監視カメラ設備				年1回点検
	・モニタカラー 21 インチ	台	2	1	
	・モニタカラー 15 インチ	台	2	1	
	・固定式カメラ	機	10	1	
③ インターホン設備	インターホン設備	台	13	1	年1回点検
④ トイレ呼出設備	インターホン設備を適用	台	7	1	年1回点検

(2) 点検内容

点検業務名	点検内容
共通事項	<p>○設備機器の正常な稼働を維持するために、付帯設備も含めたその機器に応じた最善の点検及び整備作業を計画的に実施する。</p> <p>○点検はメーカーが示す標準仕様にに基づき行うものとする。また部品（消耗部品を含む）の取替については、メーカーの指定する純正部品を使用するものとする。</p> <p>○保守の範囲</p> <p>点検の結果に応じて実施する保守の範囲は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃 ・取付不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整 ・ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増し締め ・次に示す消耗部品の交換又は補充 <ul style="list-style-type: none"> 潤滑油、グリス、充填油等 ランプ、ヒューズ類 パッキン、ガスケット、Oリング類 精製水 ・接触部分、回転部分等への注油 ・軽微な損傷がある部分の補修 ・塗装（タッチペイント） ・その他これらに類する軽微な作業 <p>○点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定を行う点検は、定められた測定機器又は当該事項専用の測定機器を使用する。 ・異常を発見した場合には、同様な異常の発生が予想される箇所の点検を行う。 ・点検及び保守の実施の結果、対象部分を現状より悪化させてはならない。 <p>○経費負担</p> <p>点検及び保守に必要な測定器、作業工具類、消耗部品等も負担すること。</p> <p>○点検の記録</p> <p>保守点検の記録として、設備ごとに、箇所（部位）、点検項目、判断基準、点検結果及び所見等を明記し、その都度報告する。</p>
空調設備保守点検業務	点検対象設備は、別に示す「主要設備機器一覧」（空調設備）参照
冷温水発生機	別紙のとおり
膨張タンク	<ul style="list-style-type: none"> ・本体の発錆、損傷及び機能点検 ・基礎又は取付状態の発錆の点検 ・配管廻りの漏洩、保温材等の点検 ・タンク内圧力の確認 ・ガス封入部の漏洩、損傷等の確認
水冷式ブラインチラー	<ul style="list-style-type: none"> ・圧縮機の異音、異臭、過熱、電圧、電流、ガス圧、温度及び機能点検 ・基礎又は取付状態の発錆、振動等の点検

	<ul style="list-style-type: none"> 蓄熱運転時の装置全体の状態、機能確認 単独運転時の装置全体の状態、機能確認 動作異常の有無の確認及び異常表示の確認 配管等の液漏れ、腐食、状態確認 圧力ゲージの機能点検及び校正
氷蓄熱ユニット	<ul style="list-style-type: none"> タンク内外の汚れ、破損の確認 タンク内の水質の目視点検 タンク内の水位の確認 水位検出器の機能確認及び校正 タンク配管接合部等の漏洩の確認 ブラインの濃度確認
冷却塔	<ul style="list-style-type: none"> 冷却塔本体の汚れ、損傷及び機能点 冷却ファンの羽根、シャフト、軸受けの汚れ、発錆、変形、異音等の機能点検 電動機本体、プーリー等の汚れ、発錆、異音、異臭、異常過熱、摩擦、芯ずれ及び機能点検 Vベルトの亀裂、張り具合の点検、調整 制御回路の点検及び各電気回路の絶縁抵抗測定 自動給水弁、ボールタップの機能動作確認
空調機・外調機	<ul style="list-style-type: none"> 電動機の異音、過熱の有無確認及び運転電流、絶縁抵抗の測定 本体構造部の腐食、損傷、異常振動の有無確認 ファン、ベルトの損傷、摩耗、異常振動の有無確認 熱源コイル、付帯配管類の腐食、損傷、漏水の有無確認 軸受部のグリスアップ（給油型軸受け使用機種のみ） 給還気温度、熱源コイル出入口の温度、圧力及びフィルター差圧の確認（マノメータ付属機種のみ）
パッケージエアコン	<ul style="list-style-type: none"> ○エアコン（スプリット型） ・圧縮機の振動、異音、異臭、過熱、電流値及び運転状態の点検調整 ・冷媒漏れ、チャージ量の点検 ・凝縮器の発錆、変形、損傷及び機能点検 ・コイル、ケーシング、配管等の点検 ・電気回路の点検及び測定 ・空気熱交換器送風機の発錆、変形、汚れ及び機能点検 ○パッケージエアコン ・フィルターの汚れ、破損及び機能の点検 ・送風機のケーシングとベルト軸受等の汚れ、発錆、変形、異音、過熱及び機能の点検 ・電動機の汚れ、発錆、異音、異臭、過熱、電流値及び機能の点検 ・圧縮機の振動、異音、異臭、過熱、電流値及び運転状態の点検調整 ・冷媒漏れ、チャージ量の点検 ・凝縮器の発錆、変形、損傷及び機能点検 ・コイル、ケーシング、配管等の点検 ・電気回路の点検及び測定 ・空気熱交換器送風機の発錆、変形、汚れ及び機能点検
ファンコイルユニット	<ul style="list-style-type: none"> ・本体、基礎、吊具支持取付金具の状態確認 ・ケーシングの発錆、損傷、漏水の有無、吸送風グリル汚れの有無確認 ・エアフィルター汚れ、破損、目詰まりの有無確認 ・ファン、モーターの発錆、損傷、振動、異音、過熱の有無 ・風量調節器の機能確認 ・保温材の剥離、欠損の有無 ・運転状態の確認 ・送風ファン運転電流の測定 ・吹込、吹出の空気温度の測定
送排風機	<ul style="list-style-type: none"> ○遠心式（ベルト型）給排気ファン ・電動機の損傷、異音、過熱の有無確認、及び電流、絶縁抵抗測定 ・ファン内外部の損傷、異音の有無、軸受けの状態確認

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 架台、支持具の損傷、異常振動等の有無確認 ・ 給油型軸受けのグリスアップ ・ Vベルトの劣化具合、張り具合の確認及び調整 ・ 本体各部、ダクト部の損傷、腐食、エアールールの有無確認 ○軸流式（直結型）給排気ファン <ul style="list-style-type: none"> ・ 電動機の異音、異常振動の有無確認及び電流、絶縁抵抗測定 ・ 架台、支持具の損傷、異常振動等の有無確認 ・ 本体各部、ダクト部の損傷、腐食、エアールールの有無確認
空調用ポンプ	○空調ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・ 電動機の汚れ、発錆、異音、過熱及び機能点検 ・ 電流、絶縁抵抗の測定 ・ ポンプ本体の発錆、異音、異臭、過熱及び機能点検 ・ 基礎、取付状態の損傷、振動等の点検 ・ 軸受装置の過熱、機能点検 ・ カップリングの芯調整及び機能点検 ・ 配管、その他ポンプ廻りの漏洩、振動、保温材等の点検 ・ 軸封部の漏れ量確認 ○加圧給水ユニット <ul style="list-style-type: none"> ・ 電動機の発錆、異音、異臭、過熱及び機能点検 ・ 電圧、絶縁抵抗の測定 ・ ポンプ本体の発錆、異音、異臭、過熱及び機能点検 ・ 軸受装置の過熱、機能点検 ・ 配管、その他ポンプ廻りの漏洩、振動等の点検
フィルター点検清掃	○対象フィルター <ul style="list-style-type: none"> ・ プレフィルター計 184 枚 ・ 空調機用プレフィルター 111 枚 ・ パッケージ空調機用フィルター 70 枚 ・ ファンコイルユニット用フィルター 3 枚 <ul style="list-style-type: none"> ・ 破損の有無確認 ・ フィルターの洗浄 ・ 取付状態確認
フィルター取替	メインフィルター（95枚）を随時点検し、運転時間、汚れ具合等状況を見ながら計画的に取替を行う。取り替えに必要なフィルター等の現物は自ら準備し、その経費を負担すること。
自動制御設備保守点検業務	点検対象設備は、別に示す「主要設備機器一覧」（自動制御設備）参照
中央監視装置及び周辺機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検及び取付状態確認 ・ 配線端子の緩み確認及び増し締め ・ ケーブルコネクタ等の装置状態確認 ・ データファイルのセーブ ・ エアフィルタの清掃 ・ FD装置のヘッドクリーニング作業 ・ 装置内の基盤及び各装置の内外部のクリーンアップ ・ 各装置の各種電圧測定 ・ プリンタ印字文字確認 ・ 冷却ファン回転状態確認 ・ 中央監視装置による発停操作確認 ・ 中央監視装置の各種システム機能確認
自動制御系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検及び取付状態確認 ・ 配線端子部の緩み確認及び増し締め ・ 調節機と操作機等関連部のループ動作確認及び調整 ・ 温湿度検出器の実測による確認及び更正 ・ 各設定値の確認及び調整 ・ 空調機自動制御弁のバルブストローク点検及び閉止時での漏れ確認 ・ 空調用自動制御ダンパの軸動作確認 ・ 中央監視装置での発停動作及び設定値変更による制御動作確認 ・ ユニットコントローラの各電圧測定

巡回点検	<ul style="list-style-type: none"> ・各階自動制御盤盤内目視点検 ・中央監視装置システム状態の確認 ・空調機制御状態の確認 ・その他、必要の都度、常駐する業務員への技術支援等
衛生設備保守点検業務	点検対象設備は、別に示す「主要設備機器一覧」（衛生設備）参照
電気温水器	<ul style="list-style-type: none"> ・本体の腐食、損傷、漏洩等の点検 ・付帯配管類の腐食、損傷、漏洩及び保温材等の点検 ・制御回路の機能点検 ・電流、絶縁抵抗等の測定 ・運転状況確認
ガス給湯器	<ul style="list-style-type: none"> ・本体の腐食、損傷、漏洩等の点検 ・付帯配管類の腐食、損傷、漏洩及び保温材等の点検 ・操作部の機能点検 ・ガス漏れ、ガス臭の有無の確認 ・燃焼、給湯等の運転状況確認
衛生ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・電動機の汚れ、発錆、異音、異臭、過熱の有無、電流測定及び機能点検 ・ポンプ本体の発錆、異音、異臭、過熱、損傷の有無及び機能点検 ・基礎又は取付状態の発錆、振動等の有無確認 ・軸受け装置の状態確認 ・カップリング芯の状態確認 ・付帯配管その他ポンプ廻りの漏洩、振動の有無、保温材等の状態確認 ・ポンプ軸封部の状態確認 ・水位制御機器の動作確認 ・制御盤、電装品の状態確認
弱電設備保守点検業務	点検対象設備は、別に示す「主要設備機器一覧」（電気設備）参照
I T V設備	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ取付状態の確認 ・カメラレンズ、カバー清掃 ・カメラ撮影位置及び状態の確認調整 ・モニターの電源スイッチ及び電源ランプの確認 ・モニターの色合い、ボリュームの確認及び調整 ・モニターのコントラスト、輝度の確認及び調整 ・モニターの焼き付き状態の確認 ・4画面ユニットの機能動作確認 ・4画面ユニットの表示ランプ点灯確認 ・スイッチャー電源スイッチ及び電源ランプの確認 ・切換スイッチの外観機能確認 ・シーケンス動作の確認
トイレ呼出設備	<ul style="list-style-type: none"> ・外観状態の確認 ・受信機の呼び鈴機能確認 ・ナースコール廊下灯点灯確認 ・復帰ボタンの機能確認 ・受信機の表示灯点灯確認
インターホン設備	<ul style="list-style-type: none"> ・外観状態の確認 ・呼び鈴の機能確認 ・通話状態の機能確認 ・選局スイッチ及びコールスイッチの機能確認
テレビ共聴設備	<p>○点検系統</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N 1 T - 2 ・ S 3 T - 1 ・ S 3 T - 2 ・ N 1 T - 1 ・ S 1 T - 1 ・ S 1 T - 2 ・ 防災センター I T V ・ S 2 T - 1 ・ N 2 T - 1 ・ S 2 T - 2 ・ S 2 T - 3 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブースター部、分配器の外観確認 ・ コネクタ類の装着状態確認 ・ d B 測定器による測定及び確認

主要設備機器一覧（空調設備）

機器名称		仕様	数量	設置場所
RH-1.2		冷房能力 362500Kcal/h 暖房能力 419000Kcal/h 120RT	2	北棟B 1階冷温水発生機室
RR-1		冷却能力 112USRT (340,000Kcal/h) 冷却能力 73USRT (220,000Kcal/h) 法定冷凍トン 56.72 トン	1	北棟B 1階主機械室
CT-1.2		角型低騒音形 冷房能力 660,000Kcal/h	2	北棟屋外機器置場
CT-3		角型低騒音形 冷房能力 405,000Kcal/h	1	北棟B 1階冷温水発生機室
ICE-1		必要蓄熱容量 (1,425,000Kcal/h) 蓄熱槽ユニット形 (2,300パイ×2,600H×3)	1	北棟B 1階主機械室
PCH-1.2		片吸込渦巻ポンプ 11KW 80パイ×1,210L/min×30mAq	2	北棟B 1階主機械室
PC-1.2		片吸込渦巻ポンプ 5.5W 65パイ×500L/min×30mAq	2	北棟B 1階主機械室
PB-1		片吸込渦巻ポンプ 11KW 100パイ×1,000L/min×30mAq	1	北棟B 1階主機械室
PCD-1.2		片吸込渦巻ポンプ 11KW 100パイ×2,040L/min×15mAq	2	北棟B 1階主機械室
PCD-3		片吸込渦巻ポンプ 11KW 100パイ×1,580L/min×20mAq	1	北棟B 1階主機械室
PU-1	加圧ユニット	受水槽付加圧給水 0.75KW×2 40パイ×60L/min×15mAq 受水槽タンク容量 1m3	1	北棟B 1階主機械室
HE-1		プレート式熱交換器（水-ブライン） 熱交換量 300,000Kcal/h 一時側水量 1,250L/min 二次側水量 1,000L/min	1	北棟B 1階主機械室
TE-1.2		床置密閉型膨張タンク 封入圧力 3.5kg/m2 許容吸収量 150L タンク容量 2,60L	2	北棟B 1階主機械室
TEB-1		開放型ブライン膨張タンク 寸法 600W×600L×600H(sus製)	1	北棟B 1階主機械室
HCS-1		材質 SGP 300パイ×4,500L	1	北棟B 1階主機械室
HCR-1		材質 SGP 300パイ×5,310L	1	北棟B 1階主機械室
HHS-1		材質 SGP 300パイ×3,990L	1	北棟B 1階主機械室
HHR-1		材質 SGP 300パイ×4,810L	1	北棟B 1階主機械室
HW-1		材質 SGP 300パイ×1,850L	1	北棟B 1階主機械室
HW-2		材質 SGP 300パイ×1,100L	1	北棟B 1階主機械室
HW-3.4.5		材質 SGP 300パイ×800L	3	北棟B 1階主機械室
AC-1	空調機	垂直床置形エアハンドリングユニット	1	北棟B 1階主機械室
プラザホール系統		回転式全熱交換器組込 送風量 18,100m3/h 11KW 還風量 18,100m3/h 5.5KW		
AC-2 4,5Fホール、エントランス系統	空調機	水平置形エアハンドリングユニット 送風量 28,750m3/h 15KW	1	北棟B 1階主機械室
AC-3 展示ホール系統	空調機	水平置形エアハンドリングユニット 送風量 4,725m3/h 2.2KW	1	北棟B 1階主機械室
AC-4 北棟外調系統	外長機	水平置形エアハンドリングユニット 送風量 10,800m3/h 7.5KW	1	北棟B 1階主機械室

機器名称		仕様	数量	設置場所
AC-5 特別会議室	ユニット型空調機	床置コンパクト形 送風量 3,200m ³ /h 1.5KW	1	特別会議室 P S
AC-6 第3会議室	ユニット型空調機	床置コンパクト形 送風量 3,200m ³ /h 1.5KW	1	第3会議室倉庫9
AC-7 第2会議室	ユニット型空調機	床置コンパクト形 送風量 3,200m ³ /h 1.5KW	1	第2会議室倉庫8
AC-8 第1会議室	ユニット型空調機	床置コンパクト形 送風量 5,300m ³ /h 3.7KW	1	第1会議室倉庫7
AC-9 A V会議室	ユニット型空調機	床置コンパクト形 送風量 4,600m ³ /h 1.5KW	1	研修室倉庫6
AC-10 研修室	ユニット型空調機	床置コンパクト形 送風量 4,400m ³ /h 1.5KW	1	研修室倉庫6
AC-11 開放研究室1	ユニット型空調機	床置コンパクト形 送風量 1,800m ³ /h 0.75KW	1	開放研究室1PS
AC-12 開放研究室2	ユニット型空調機	床置コンパクト形 シングルコイル 送風量 3,300m ³ /h 1.5KW	1	開放研究室2
AC-13A, B 開放研究室3	ユニット型空調機	床置コンパクト形 シングルコイル 送風量 2,400m ³ /h 0.75KW	2	開放研究室3
AC-14A, B 開放研究室4	ユニット型空調機	床置コンパクト形 シングルコイル 送風量 3,200m ³ /h 1.5KW	2	開放研究室4
AC-15A, B, C, D 開放研究室5	ユニット型空調機	床置コンパクト形 シングルコイル 送風量 3,250m ³ /h 1.5KW	4	開放研究室5
AC-16A, B 研究開発財団	ユニット型空調機	床置コンパクト形 下吹出し形 送風量 6,000m ³ /h 2.2KW	2	研究開発財団 PS
AC-16C, D 財団理事長、会議室	ユニット型空調機	薄型床置コンパクト形 送風量 1,100m ³ /h 0.4KW	2	研発財団理事長、会議室 PS
AC-17 県工業会・県技師会室	ユニット型空調機	床置コンパクト形 下吹出し形 送風量 4,200m ³ /h 1.5KW	1	更衣室 PS
AC-18 相談室	ユニット型空調機	薄型床置コンパクト形 送風量 1,600m ³ /h 0.4KW	1	相談室 PS
AC-19 K-IT シティコンソーシアム室	ユニット型空調機	薄型床置コンパクト形 送風量 1,600m ³ /h 0.4KW	1	K-IT シティコンソーシアム室 PS
AC-20A, B 研究開発財団会議室、 テクノプラザ管理事務所	ユニット型空調機	薄型床置コンパクト形 送風量 1,700m ³ /h 0.4KW	2	研究開発財団会議室・ 管理事務所 PS
AC-21A, B 情報機器管理室	ユニット型空調機	薄型床置コンパクト形 送風量 2,100m ³ /h 0.75KW	2	情報機器管理室 PS
AC-22 図書館システムサーバー室	ユニット型空調機	薄型床置コンパクト形 送風量 2,300m ³ /h 0.75KW	1	図書館システムサーバー室 PS
AC-23 CD-ROM コーナ	ユニット型空調機	床置コンパクト形 送風量 4,000m ³ /h 1.5KW	1	図書館 PS
AC-24 コンピュータ検索コナ	空調機	床置コンパクト形 送風量 4,000m ³ /h 1.5KW	1	図書館 PS
AC-25 図書資料室系統	空調機	垂直床置形エアハンドリングユニット 送風量 25,700m ³ /h 18.5KW	1	図書館倉庫14
AC-26 南棟1.2階展示ギャラリー系統	空調機	垂直床置形エアハンドリングユニット 送風量 5,700m ³ /h 3.7KW	1	1階機械室
AC-27 南棟3.4階 ELV ホール系統	外調機	垂直床置形エアハンドリングユニット 送風量 2,450m ³ /h 1.5KW	1	3階機械室
CHC-N1		ダクト接続型 W2167×850HF	1	北棟B1階主機械室
FCU-2		天井カセット型 二方向吹出 送風量 6,60m ³ /h 単相 100V19W	1	ロッカー室
FCU-3		天井カセット型 二方向吹出 送風量 6,60m ³ /h 単相 100V19W	1	中央監視室

機器名称	仕様	数量	設置場所
FCU-4	天井吊型 送風量 1120m ³ /h 単相 100V63W	1	AV 会議室映写室
ACP-1	屋外機 (ダブルツイン型) COMP3KW 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW	1	屋外機器置場 (通用口側)
	屋内機 天井吊型 冷房能力 5.6W 暖房能力 6.3W	2	プラザホール調整室
ACP-3	屋外機 (ダブルツイン型) COMP4.4KW 冷房能力 16KW 暖房能力 18KW	1	屋外機器置場 (ドライエリア側)
	屋内機 天井埋込カセット型 (4方向) 冷房能力 8KW 暖房能力 9KW	2	通信機械室
ACP-4	屋外機 COMP3.0KW+4.4KW×2 冷房能力 45KW 暖房能力 50KW	1	屋外機器置場 (通用口側)
ACP-4A	屋内機 天井隠蔽ダクト接続型 冷房能力 3.6KW 暖房能力 4KW	5	仮眠室 R-1~5
ACP-4B	屋内機 天井隠蔽ダクト接続型 冷房能力 3.6KW 暖房能力 4KW	2	仮眠室 R-6, 防災センター
ACP-4C	屋内機 天井埋込カセット型 (2方向) 冷房能力 3.6KW 暖房能力 4KW	1	警備室
ACP-4D	屋内機 天井隠蔽ダクト接続型 冷房能力 3.6KW 暖房能力 4KW	2	仮眠室ロビー
ACP-5	屋外機 (冷房専用) 冷房能力 22,4KW	2	屋外機器置場 (ドライエリア側)
	屋内機 床置露出型 (年間冷房) 冷房能力 22,4KW COMP5.5KW	2	受変電室
ACP-6	屋外機 COMP 2.2W 冷房能力 8KW 暖房能力 9KW	45	南棟屋上
	屋内機 床置立型ダクトタイプ 冷房能力 8KW 暖房能力 9KW	45	南棟廊下 PS
ACP-7	屋外機 COMP1.1KW 冷房能力 4.5KW 暖房能力 5KW	1	屋外機器置場 (通用口側)
	屋内機 壁掛型 冷房能力 4.5KW 暖房能力 5KW	1	キャッシュコーナー
ACP-8	屋外機 (ダブルツイン型) COMP3KW 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW	1	屋外機器置場 (ドライエリア側)
	屋内機 天井埋込カセット型 (2方向) 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW	2	清掃員室、用具庫
FEA-4	片吸込多翼ファン 遠心式 (ベルト型) 風量 10.050m ³ /H 2.2KW	1	北棟 B 1 階主機械室

機器名称		仕様	数量	設置場所
FS-N1		片吸込多翼ファン 遠心式(ベルト型) 風量 15.900m3/H 3.7KW	1	北棟B 1階主機械室
FS-N2		片吸込多翼ファン 遠心式(ベルト型) 風量 4.800m3/H 1.5KW	1	冷温水発生機室
FS-N4		軸流ファン(直結型) 風量 16.500m3/H 3.7KW	1	自家発電機室
FS-N5		片吸込多翼ファン 遠心式(ベルト型) 風量 4.000m3/H 1.5KW	1	北棟B 1階主機械室
FS-N17		片吸込多翼ファン 遠心式(ベルト型) 風量 5.000m3/H 1.5KW	1	北棟B 1階主機械室
FE-N1		片吸込多翼ファン 遠心式(ベルト型) 風量 15.900m3/H 3.7KW	1	北棟B 1階主機械室
FE-N4		軸流ファン(直結型) 風量 15.000m3/H 5.5KW	1	自家発電機室
FE-N5		片吸込多翼ファン 遠心式(ベルト型) 風量 4.500m3/H 1.5KW	1	北棟B 1階主機械室
FEA-25		片吸込多翼ファン 遠心式(消音BOX型付) 風量 8.300m3/H 1.5KW	1	図書館倉庫 14
FE-S11		片吸込多翼ファン 遠心式(ベルト型) 風量 4.110m3/H 1.5KW	1	3階倉庫 5
FE-N17		片吸込多翼ファン 遠心式(ベルト型) 風量 5.000m3/H 1.5KW	1	設備トレンチ
1KW未満			96	

主要設備機器一覧(自動制御設備)

機器名称		仕様	数量	製造業者	設置場所	点検名
(中央管制装置)				アズビル(株)		自動制御
savic-net11		メインコンソール(グラフィック) WY2311A3010	1	アズビル(株)	北棟B1階 中央監視室	
分盤ユニット		83154986-020	1	アズビル(株)	北棟B1階 中央監視室	
メッセージプリンタ		83158162-101	1	アズビル(株)	北棟B1階 中央監視室	
CRT/KB/マウス		83160544-005(CRT)	1	アズビル(株)	北棟B1階 中央監視室	
無停電電源装置		QYY-SB20(2KVA)	1	アズビル(株)	北棟B1階 中央監視室	
検針システム (ビルマネージメントシステム)	ビルマネージメントシステム	BCY14030A1000	1	アズビル(株)	北棟 財団理事室	
	CRT	83160338-001	1			
	プリンタ	レーザー式	1			
	光磁気ディスク	83160334-001	1			
	無停電電源装置	QYY-SD10(1KVA)	1			
(自動制御機器)			1	アズビル(株)		自動制御
熱源廻り制御①	挿入形温度検出器	TY7830B	11		北棟 主機械室	
	差圧発信器	JTD	2			
	パフォーマトリクス	WY7041F	2			
	アナログ入力変換器	RY7100A	2			
	Pt入力変換器	RY7100P	6			

機器名称	仕様	数量	製造業者	設置場所	点検名
	温度指示調整計	R31	2		
	温度指示調整計	R20	1		
	電磁流量計/変換器	KID/KIX	2		
	電動二方弁	VY5110B	2		
	バクフライ弁	VY6900D	2		
	蓄熱量指示調整計	R31	1		
	差圧指示調整計	R31	2		
	バクフライ弁	VM3	4		
	DC24 電源	RY7910D	2		
熱源廻り制御②	感震装置	V725	2	アズビル (株)	北棟 主機械室
	煤煙濃度計	ST-300	1		
冷却塔制御 (3 セット)	挿入形温度検出器	TY7830B	9	アズビル (株)	冷却塔置場 (屋外)
	温度指示調整計	R31	1		
	温度指示調整計	R20	3		
	電動ボール弁	VY6100D	3		
	アクションモーター	M940	1		
	3 方弁	V5065A	1		
空調機制御① AC-1	温湿度検出器	HY7801C	1	アズビル (株)	北棟 主機械室 (プラザホール)
	差圧スイッチ	PYY-CL13	1		
	デジタル式調節器	WY7211	1		
	ダンプ 操作機	MY6040A	5		
	補助ボイラモーター	QY9000A	3		
	電動二方弁	VY5110A	2		
	温度検出器	TY7800C	1		
空調機制御② AC-2, 3, 25	温湿度検出器	HY7801C	3	アズビル (株)	北棟 AC-2 (ロビーエントランス) AC-3(展示ホール) AC-25(科学技術図書館)
	差圧スイッチ	PYY-CL13	3		
	温度指示調節計	R31	6		
	湿度指示調節計	R31	3		
	モーターライバー	RN796A	6		
	ダンプ 操作器	MY6040A	3		
	電動二方弁	VY5110A	6		
	温度検出器	VY5218A	3		
空調機制御③ AC-23, 24	温湿度検出器	HY7801C	2	アズビル (株)	北棟 AC-23 (発明協会他) AC-24(コンピュータ・検索コーナー)
	差圧スイッチ	PYY-CL13	2		
	温度指示調節計	R31	2		
	湿度指示調節計	R20	2		
	モーターライバー	RN796A	4		
	ダンプ 操作器	MY6040A	2		
	電動二方弁	VY5218A	4		
空調機制御④ AC-4	露点温度検出器	HY7901A	1	アズビル (株)	北棟 AC-4(外調機)
	温度検出器	TY7800C	1		
	微差圧発信機	PY7000C	1		
	DC24 電源	RY7910D	1		
	温度指示調節計	R31	1		
	湿度指示調節計	R20	1		
	モーターライバー	RN796A	3		
	ダンプ 操作器	MY6040A	1		
	差圧スイッチ	PYY-CL13	1		
	電動二方弁	VY5110A	2		
	圧力指示調整計	R31	1		
	レゾナンス	RY7910B	1		
アイルレータ	RY7910S	1			

機器名称	仕様	数量	製造業者	設置場所	点検名
	温度調節器	T675A	1		
	インバーター		2		
空調機制御⑤ AC-5, 6, 7, 8, 9, 10	温度検出器	TY7800C	6	アズビル (株)	北棟
	差圧スイッチ	PYY-CL13	6		
	温度指示調節計	R31	5		
	モータードライバ	RN796A	10		
	電動二方弁	VY5218A	12		
	デジタル式調節器 (ICC)	WY7217	1		
空調機制御⑥ AC-11, 12, 13A, 13B, 14A, 14B, 15A, 15B, 15C, 15D	温湿度検出器	HY7801C	10	アズビル (株)	北棟
	差圧スイッチ	PYY-CL13	10		
	温度指示調節計	R31	1		
	湿度指示調節計	R20	1		
	ダンパ操作器	MY6040A	10		
	電動二方弁	VY5218A	11		
	モータードライバ	RN796A	2		
	デジタル式調節器 (ICC)	WY7217	9		
空調機制御⑦	温度検出器	T7090D	2	アズビル (株)	
	湿度検出器	TY7800C	3		
	差圧スイッチ	PYY-CL13	3		
	温度指示調節計	R30	2		
	モータードライバ	RN796A	6		
	電動二方弁	VY5218A	6		
	温度指示調節計	R31	3		
ファンコイルユニット制御 (9 セット) (AC-16C, 16D, 18, 19, 20A, 20B, 21A, 21B, 22)	デジタル式調節器 (ICC)	WY7205	9	アズビル (株)	北棟
	差圧スイッチ	PYY-CL13	9		
	アクチュエータ	RN796A	18		
	比例二方弁	VY5912A	18		
	温度調節設定器	TY7601A	9		
パッケージ制御	温度検出器	T7090D	1	アズビル (株)	北棟
	温度指示調節計	R20	1		
コイルユニット制御	温度検出器	TY7800C	1	アズビル (株)	北棟
	温度指示調節計	R31	1		
	ダンパ操作器	MY6040A	1		
	電動二方弁	VY5110A	1		
ファン発停制御	ファームスタート	T631C	1	アズビル (株)	北棟
空調機制御⑥ AC-26, 27	温湿度検出器	HY7801C	2	アズビル (株)	南棟
	差圧スイッチ	PYY-CL13	2		
	温度指示調節計	R30	2		
	湿度指示調節計	R20	2		
	モータードライバ	RN796A	5		
	電動二方弁	VY5218A	4		
	ダンパ操作器	MY6040A	2		
	温度調整器	T675A	1		
ファン発停制御	ファームスタート	T631C	1	アズビル (株)	南棟
パッケージ加湿制御	湿度調整器	H69A	45	アズビル (株)	南棟
外気温湿度計測	温湿度発信器	HUCO (セラミック)	1	アズビル (株)	冷却塔置場

主要設備機器一覧（衛生設備）

機器名称	仕様	数量	製造業者	設置場所	点検名
TW-1	SUS444 パネル組立式 2槽式 4.5W×4.5D×2.5H 有効容量 42t	1	(株)ベルテクノ	北棟 B1 階 主機械室	
PWU-1	加圧給水ユニット 40パイ×700L/min×35m×2台 動力 3相 200V 3.7KW×2	1	(株)日立製作所	北棟 B1 階 主機械室	衛生ポンプ
PWU-2	加圧給水ユニット 40パイ×600L/min×30m×2台 動力 3相 200V 3.7KW×2	1	(株)日立製作所	北棟 B1 階 主機械室	衛生ポンプ
PD-1	遠心式水中ポンプ 65パイ×300L/min×10m×2台 動力 3相 200V 1.5KW×2	1	(株)日立製作所	主機械室汚水 ピット	衛生ポンプ
PD-2	遠心式水中ポンプ 50パイ×200L/min×10m×2台 動力 3相 200V 1.5KW×2	1	(株)日立製作所	主機械室雑排 水ピット	衛生ポンプ
PD-3	遠心式水中ポンプ 50パイ×200L/min×10m×2台 動力 3相 200V 1.5KW×2	1	(株)日立製作所	中央トレンチ ピット	衛生ポンプ
PD-4	遠心式水中ポンプ 50パイ×100L/min×10m×2台 動力 3相 200V 0.75KW×2	1	(株)日立製作所	ドライエリア ピット	衛生ポンプ
PD-5	遠心式水中ポンプ 50パイ×200L/min×10m×2台 動力 3相 200V 1.5KW×2	1	(株)日立製作所	設備トレンチ ピット	衛生ポンプ
PD-6	遠心式水中ポンプ 50パイ×200L/min×10m×2台 動力 3相 200V 1.5KW×2	1	(株)日立製作所	冷温水発生室 機室ピット	衛生ポンプ
PD-7	遠心式水中ポンプ 50パイ×200L/min×10m×2台 動力 3相 200V 1.5KW×2	1	(株)日立製作所	1階 WC 前室 ピット	衛生ポンプ
PFU-1	遠心陸上ポンプ 50パイ×300L/min×48m 動力 AC100V 5.5KW	1	(株)日立製作所	消火ポンプ室	衛生ポンプ
PJFU-1	遠心陸上ポンプ 25パイ×15L/min×60m 動力 AC200V 0.75KW	1	(株)日立製作所	消火ポンプ室	衛生ポンプ
WHE-1	床置型密閉式 10L 単相 AC200V 1.5KW	5	(株)日本イトミック	湯沸室、WC 洗 面所	電気温水器
WHE-2	床置型密閉式 20L 単相 AC200V 2KW	13	(株)日本イトミック	WC 洗面所	電気温水器
WHE-3	床置型密閉式 30L 単相 AC200V 3KW	8	(株)日本イトミック	WC 洗面所	電気温水器
GH-1	給湯能力 100号(50号×2台連結仕様) 96,000cal/h (111.6KW)×2 13A	1	高木産業(株)	屋外機器置場 (通用口側)	ガス給湯器
GH-2	ガス消費量 44.0KW 13A	1	(株)パロマ	厨房	ガス給湯器
PHW-1	遠心陸上ポンプ 25パイ×5L/min×4m 単相 AC100V 0.12KW	1	(株)日立製作所	屋外機器置場 (通用口側)	衛生ポンプ
汚水槽	1,965mm×4,150mm×1,100mm	1	建築工事:	北棟 B1 階主機械室	
	1,965mm×4,150mm×700mm	1	大日本土木(株)		
雑排水槽	3,000mm×4,000mm×9,000mm	1	建築工事:大日本土木(株)	北棟 B1 階主機械室	

主要設備機器一覧（電気設備）

機器名	仕様	数量	製造業者	設置場所	保守点検	
インターホン設備	相互式インターホン	12局	松下通信工業 (株)	防災センター	弱電設備	
	電源部	AC100V/DC12V		VRリハビリ、機械室		
	夜間受付インターホン親機	AC100V 4型扁平ブラウン管		北棟通用口		
	子機	カメラ付き				
ITV 設備	ITV 架	21インチカラーモニター	松下通信工業 (株)	防災センター	弱電設備	
		シーケンシャルスワッチャー				
		4画面分割ユニット				
	ITVサブモニター架	15インチカラーモニター		2		管理事務所
	カラーカメラ	ドーム型(天井埋込)		9		共用部
		アーム型		1		情報機器管理室

機器名	仕様		数量	製造業者	設置場所	保守点検
トイレ呼出表示設備	トイレ呼出表示器	5窓	1	(販社) 中部松下システム(株)	防災センター	弱電設備
		3窓	1		VRテナセンター	
	呼出ボタン	呼出確認灯付防水型樹脂プレート	7		各身障者 WC	
	廊下表示灯	表示灯(白)新金属プレート	7		各身障者 WC	
	復帰ボタン	大角型新金属プレート	7		各身障者 WC	
テレビ [〃] 共聴設備	UHF+BSアンテナ	ビル共聴	1式	愛知電子(株)		弱電設備
	UHFアンテナ	75センチ	1		3階屋上	
	増幅器	40db	13		各階 PS	
	直列ユニット		82		各階 各室	

要領 6

科学技術振興センター
冷温水発生機保守点検業務実施要領

1 業務の内容及び点検実施回数

- (1) 定期点検回数は年6回とする。
- (2) 定期点検内容は次のとおりとする。
- (3) 冷却水系伝熱管のブラシ洗浄は年1回行う。
- (4) メーカーが示す標準仕様にに基づき実施し、部品交換はメーカー指定の純正部品とする。

2 付帯事項

酸化抑制剤、冷媒、アルコール、小物ビス類は本契約内に含む。

3 点検内容

(1) イン点検

冷房イン点検	暖房イン点検
①イン点検準備作業	①イン点検準備作業
②本体関係の切替作業 ・ 弁切替操作	②本体関係の切替作業 ・ 弁切替操作
③制御盤切替作業 ・ 冷暖切替スイッチ（各タイマー切替確認） ・ 各スイッチ切替	③制御盤切替作業 ・ 冷暖切替スイッチ（各タイマー切替確認） ・ 各スイッチ切替
④真空度の確認 ・ 貯室圧力 ・ 抽気	④真空度の確認 ・ 貯室圧力 ・ 抽気
⑤電気系統の確認 ・ 各ポンプ、バーナブロアーの絶縁抵抗	⑤電気系統の確認 ・ 各ポンプ、バーナブロアーの絶縁抵抗
⑥安全保護装置の点検、確認 ・ 高温再生器圧カスイッチ ・ 貯室圧カスイッチ ・ 高温再生器液面低 ・ 冷温水、（冷却水）フロースイッチ点検	⑥安全保護装置の点検、確認 ・ 高温再生器圧カスイッチ ・ 貯室圧カスイッチ ・ 高温再生器液面低 ・ 冷温水フロースイッチ点検
⑦制御回路機能点検 ・ プロテクトリレー動作 ・ 上限、下限リミットスイッチ動作 ・ 高温再生器圧液面リレー	⑦制御回路機能点検 ・ プロテクトリレー動作 ・ 上限、下限リミットスイッチ動作 ・ 高温再生器圧液面リレー
⑧マイコンコントローラーパラメーター確認	⑧マイコンコントローラーパラメーター確認
⑨インバータ設定値の確認	⑨インバータ設定値の確認
⑩ガス漏れ点検	⑩ガス漏れ点検

<ul style="list-style-type: none"> ・弁越し漏れ点検 ・外部漏れ点検 ⑪燃焼関係の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・フレイム電流 ・パイロットの点火試験 ・メイン点火試験 ・燃焼状態の点検 ⑫燃焼機器動作点検 <ul style="list-style-type: none"> ・風圧低 ・失火 ・ガス圧 ⑬排ガス分析、調整 <ul style="list-style-type: none"> ・酸素、一酸化炭素、二酸化炭素 ・冷媒、吸収液の濃度、比重、チェック ⑭運転データの記録、運転調整 <ul style="list-style-type: none"> ・データの記録、分析 ⑮吸収液サンプリング作業 <ul style="list-style-type: none"> ・吸収液抜き取り ・液質検査 ⑯イン点検完了報告等 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨インバータ設定値の確認 ⑩ガス漏れ点検 <ul style="list-style-type: none"> ・弁越し漏れ点検 ・外部漏れ点検 ⑪燃焼関係の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・フレイム電流 ・パイロットの点火試験 ・メイン点火試験 ・燃焼状態の点検 ⑫燃焼機器動作点検 <ul style="list-style-type: none"> ・風圧低 ・失火 ・ガス圧 ⑬排ガス分析、調整 <ul style="list-style-type: none"> ・酸素、一酸化炭素、二酸化炭素 ・冷媒、吸収液の濃度、比重、チェック ⑭運転データの記録、運転調整 <ul style="list-style-type: none"> ・データの記録、分析 ⑮イン点検完了報告等
--	--

(2) オン点検

冷房オン点検	暖房オン点検
<ul style="list-style-type: none"> ①オン点検準備作業 ②安全保護装置の点検、確認 <ul style="list-style-type: none"> ・高温再生器圧力スイッチ ・貯室圧力スイッチ ・高温再生器液面低 ③真空度の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・貯室圧力 ④制御回路機能点検 <ul style="list-style-type: none"> ・プロテクトリレー動作 ・上限、下限リミットスイッチ動作 ・高温再生器圧液面リレー ⑤燃焼関係の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・フレイム電流 ・パイロットの点火試験 ・メイン点火試験 	<ul style="list-style-type: none"> ①オン点検準備作業 ②安全保護装置の点検、確認 <ul style="list-style-type: none"> ・高温再生器圧力スイッチ ・貯室圧力スイッチ ・高温再生器液面低 ③真空度の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・貯室圧力 ④制御回路機能点検 <ul style="list-style-type: none"> ・プロテクトリレー動作 ・上限、下限リミットスイッチ動作 ・高温再生器圧液面リレー ⑤燃焼関係の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・フレイム電流 ・パイロットの点火試験 ・メイン点火試験

<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃焼状態の点検 ⑥燃焼機器動作点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 風圧低 ・ 失火 ・ ガス圧 ⑦排ガス分析、調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 酸素、一酸化炭素、二酸化炭素 ⑧運転データの記録、運転調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ データの記録、分析 ・ 冷媒、吸収液の濃度、比重、チェック ⑨吸収液サンプリング作業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 吸収液抜き取り ・ 液質検査 ⑩オン点検完了報告等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃焼状態の点検 ⑥燃焼機器動作点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 風圧低 ・ 失火 ・ ガス圧 ⑦排ガス分析、調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 酸素、一酸化炭素、二酸化炭素 ⑧運転データの記録、運転調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ データの記録、分析 ・ 冷媒、吸収液の濃度、比重、チェック ⑨オン点検完了報告等
--	---

(3) オフ点検

冷房オフ点検	暖房オフ点検
<ul style="list-style-type: none"> ①オフ点検準備作業 ②各部品外観検査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各温度計、スイッチ関係 ・ 各圧力計 ・ プロテクトリレー ・ 各リレー関係 ・ バーナー関係、その他 ③高温再生器の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 煙室カバーの開放点検 ・ 炉室煙管の点検 ④真空度の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯室圧力 ・ 抽気 ⑤冷却水系の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷却水系チューブの汚れ点検 ⑥オフ点検完了報告等 	<ul style="list-style-type: none"> ①オフ点検準備作業 ②各部品外観検査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各温度計、スイッチ関係 ・ 各圧力計 ・ プロテクトリレー ・ 各リレー関係 ・ バーナー関係、その他 ③高温再生器の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 煙室カバーの開放点検 ・ 炉内点検 ・ バッフル点検 ・ 炉室煙管の点検 ④真空度の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯室圧力 ・ 抽気 ⑤オフ点検完了報告等

要領 7

テクノプラザ本館
消防設備保守点検業務実施要領

1 業務の内容及び点検実施回数

- (1) 自動火災報知設備 外観及び機能点検 1回、外観・機能及び総合点検 1回
- (2) 防火・防排煙設備 外観及び機能点検 1回、外観・機能及び総合点検 1回
(防火戸、シャッターについては、自火報連動点検、機能点検及び調整等を行う)
- (3) ガス漏れ火災警報設備 外観及び機能点検 1回、外観・機能及び総合点検 1回
- (4) 誘導灯 外観及び機能点検 2回、配線点検 1回
- (5) 非常放送設備 外観及び機能点検 1回、外観・機能及び総合点検 1回
- (6) 消火器 外観及び機能点検 2回
- (7) 屋内消火栓設備 外観及び機能点検 1回、外観・機能及び総合点検 1回
- (8) 連結散水設備 外観及び機能点検 2回
- (9) 自家発電設備 外観及び機能点検 1回、外観・機能及び総合点検 1回
- (10) 蓄電池設備 外観及び機能点検 1回、外観・機能及び総合点検 1回
- (11) 火災通報設備 外観及び機能点検 1回、外観・機能及び総合点検 1回

2 点検日・結果報告

点検は、原則として日曜日に実施すること。

なお、業務完了後、報告書を複数作成し、消防署等関係機関にも提出すること。

3 主要設備機器一覧

設備名	機器名	数量	備考	
自動火災報知設備	受信機	1台	FCRG型 109回線	
	主中継器盤	1台		
	発信機	20個		
	表示灯	20個		
	差動式スポット型熱感知器	22個		
	定温式スポット型熱感知器	58個		
	光電スポット型煙感知器	190個		
	光電アナログスポット型煙感知器	51個		
	中継器	29個		
	消火栓起動リレー	1個		
	R/P変換器	1式		
	表示機	1台		
	常用電源	1式		
予備電源	1式			
防火・防排煙設備	連動操作盤	1台	FCRG型 24回線	
	ダンパー	41個		
	切替器	25個		
	防火戸	14個		甲種防火戸、煙感知器連動 電動防煙
	シャッター	5個		

	電子サイレン 常用電源 予備電源	2個 1式 1式	
ガス漏れ火災警報 設備	受信機 ガス検知器 中継器 常用電源 予備電源	1台 2個 2個 1式 1式	FCRG型 2回線
誘導灯	避難口誘導灯 通路誘導灯 誘導灯信号装置	35個 25個 1個	
非常放送設備	防災アンプ スピーカー リモートマイク 音量調整器 常用電源 予備電源	1式 215個 1台 104個 1式 1式	600W 29回線 DC24V-12AH
消火器	消火器 10型	73本	3.0kg
屋内消火栓設備	ポンプモーター (消火栓ポンプ) 補助加圧ポンプ 圧力タンク 屋内消火栓 起動スイッチ 呼水装置 操作盤 常用電源	1個 1個 1個 20個 20個 1個 1台 1式	300L/min×48m 210v /5.5kw 210v /0.75kw 40A 100L
連結散水設備	双口送水口 ヘッド	11個 99個	北棟 屋外 65A 主機械室、南棟各階
自家発電設備	原動機 発電機	1台 1台	150KVA
蓄電池設備	蓄電池 充電装置	54個 1式	HS-250E
火災通報設備	火災通報装置	1個	CAF012A

要領 8

テクノプラザ本館
昇降設備保守点検業務実施要領

1 設置機種

油圧インバーター制御エレベータ（乗用、車椅子・視覚障害者用） 1台
操作方式 2BC
停止数 4ヶ所
積載荷重 900kg（定員13名）
速度 60m/min
付加装置 地震時管制運転装置、停電時自動着床装置、音声合成アナウンス装置

油圧インバーター制御エレベータ（乗用、車椅子・視覚障がい者用） 1台
操作方式 2BC
停止数 2ヶ所
積載荷重 900kg（定員13名）
速度 45m/min
付加装置 地震時管制運転装置、停電時自動着床装置、音声合成アナウンス装置

2 業務の内容

(1) 点検・手入れ保全

- ア 定期的に計画的な点検、手入れ保全作業（給油、調整、清掃等）の実施
- イ 点検、手入れ保全の対象箇所、対象機器、作業内容は、「別表Ⅰ」のとおりとする。
- ウ 点検、手入れ保全作業を行ったときは、速やかに「作業報告書」を提出すること。

(2) リモート点検

- ア 昇降機設備の運行状態を常時記録し、その記録を収集して、定期的に機器の状態を点検すること。これにより点検する項目、内容は「別表Ⅱ」のとおりとする。
- イ 前記アの対象点検の項目、内容について変調状態が生じた場合は、適切な処置をとること。
- ウ 昇降機設備の運行状態のデータに基づく点検結果および変調状態に対する処置の結果については、毎月「リモート点検報告書」にて報告すること。

また、変調発生後の処置のため現場で作業を行った場合は、その作業に応じて、「作業報告書」を提出すること。

- エ 昇降機設備の運行状況を「利用状況報告書」にて定期的に報告すること。

(3) 異常監視、直接通話サービス

- ア 昇降機設備について次の異常が発生したときは、リモート点検装置からの異常通報に基づき、適切な処置をとること。
 - ① 閉じ込め故障 ② 使用不能故障（運行に支障がある状態） ③ 着床不良
 - ④ 戸開閉不良 ⑤ 制御盤停電 ⑥ リモート点検装置(MOP盤)停電 ⑦ 機械室温度異常
- ただし、⑤、⑥が同時に発生した場合（ビル停電等）は、通報されないためこの限りで

はない。

イ 昇降機設備に次の故障が発生した場合は、昇降機設備かご内のインターホンにより、同かご内の乗客と受託者の受信専門員が直接通話し、必要な指示、連絡等に当たること。

①閉じ込め故障 ②使用不能故障

ウ 異常通報が発せられた場合の処置の結果については、「リモート点検報告書」にて、報告すること。また、異常通報に基づく処置のために現場で作業を行った場合は、その作業に応じて「作業報告書」又は「故障修理報告書」を提出すること。

(4) 消耗品部品の供給

ア 作業に必要な部品のうち、消耗部品(通常の使用による摩耗・劣化により、補完・交換を頻繁に行う小部品・油脂類等)を供給すること。

イ 消耗部品の範囲は、「別表Ⅲ」のとおりとする。

(5) 機器の構成部品の修理、取替

ア 昇降機設備の機能維持を図るため、機器の摩耗、劣化を予測し、その予測に基づいて必要と認めた場合は、機器の構成部品の修理、取替をすること。ただし、その対象となる機器の摩耗、劣化は、昇降機設備を通常使用する場合に生ずる範囲のものとする。

イ 前記アの機器の構成部品の修理、取替の対象とする範囲は、「別表Ⅳ」のとおりとする。

ウ 上記工事が終了したときは、「工事完了届」を提出すること。

(6) 品質検査

1年に1回、昇降機設備の総合的な機能を確認する検査を行い、品質検査の結果については、「定期検査報告書」を提出すること。

(7) 緊急時の対応

昇降機設備について故障等の緊急事態が発生した場合は、速やかに、昇降機設備の運行状態を確認するとともに事態に応じた適切な処置をとること。この処置の結果については、「作業報告書」又は「故障修理報告書」を提出すること。

〈別表－I〉点検内容

箇所	機器名	点検内容
機械室	室内環境	○機械室の出入口戸・窓の施錠状態、戸・窓の開閉状態、破損の有無、換気状態、天井・壁・床のひび割れ、雨漏りの有無、証明・コンセントの点検 ○整理・清掃状態、換気装置・室温の異常の有無 ○消火器・その他備品の異常の有無
	各機器	○機械室内各機器の運転状態、回転状態、動作状態異常音の有無、異常発熱・異常アークの有無の点検
	制御盤	○N Fブレーカーの固定状態、損傷の有無、端子の緩み、電源の点検 ○各盤の固定状態、扉（カバー）開閉状態、ロック状態の点検 ○接触機本体の損傷の有無、カシメ部分のガタの有無、接点の荒損状態、フォローアップの点検 ○継電器の接点のフォローアップ、接点の荒損状態の点検 ○CPU基盤の発光ダイオード点灯状態、安全チェック回路の動作、バッテリー劣化の有無の点検 ○抵抗器の損傷の有無、端子の緩み、ヒューズ取付状態・劣化の有無の点検 ○その他機器の損傷の有無、端子の緩み、コネクタ接続状態、ハンダの状態、配線状態の点検 ○各回路電圧・絶縁状態の点検 ○異常履歴データの確認 ○故障発報機能の確認
	油圧ポンプ	○電動機・ポンプの固定状態、プーリの異常摩耗の有無、プーリ間の平行、Vベルトの亀裂・偏摩耗の有無、Vベルトのテンションの点検 ○電動機の絶縁状態、端子の緩みの点検 ○油洩れの有無
	サイレンサ	○サイレンサの固定状態、変形・損傷の有無の点検 ○油洩れの有無
	バルブ	○各バルブの取付状態、ロックナットの緩みの点検 ○圧力異常の有無の点検 ○油洩れの有無
機械室	ファン ラジエータ	○ラジエータの固定状態、ファンの曲がり・変形の有無、端子の緩み、軸受給油状態の点検 ○冷却装置のサーモスイッチの動作、損傷の有無の点検 ○油洩れの点検

	オイルタンク	<ul style="list-style-type: none"> ○タンクの固定状態、作動油の量、劣化の有無、フィルターの汚損の有無の点検 ○油洩れの有無
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○端子箱の取付状態、端子の緩み、配線状態の点検 ○各配管の固定状態、発錆・損傷・油洩れの有無、各経路内空気混入の有無、ボルト・ホース・バンドの緩み ○その他固定ボルトの緩み、配線状態、給油管の点検
かごまわり	かご上	<ul style="list-style-type: none"> ○かご上損傷の有無、各安全スイッチ動作の点検 ○非常電源装置の固定状態、配線状態の点検
	かご戸まわり	<ul style="list-style-type: none"> ○かご戸の吊り状態、ドアレール清掃・給油状態、レール異常摩耗の有無、ドアハンガー設定状態、ハンガーローラー摩耗・剥離の有無、アップスラストローラー調整状態、従動腕の取付状態、ドアシュー摩耗・変形の有無、取付ボルト・ビスの緩みの点検 ○各軸受回転状態の点検 ○ドアモーターの固定状態、エンコーダの固定状態の点検 ○ドアマシンの固定状態、ベルト・チェーンテンション、ドアマシン位置スイッチ設定、発光ダイオード点灯状態、ベルトの損傷、異常摩耗の有無、コネクタ接続状態の点検 ○戸閉連動機構の取付状態、曲がり・変形の有無、ベーン芯出し状態の点検 ○かご戸と乗場戸連動状態の点検 ○位置スイッチの固定状態、配線状態、動作状態の点検 ○セーフティシューの固定状態、変形・ガタの有無、ストロークマイクロスイッチ取付状態、端子の緩み、配線状態の点検 ○ゲートスイッチの取付状態、動作点設定状態、ローラーのストローク、接点フォローアップ、接点の荒損状態、端子の緩み配線状態の点検 ○光電装置の固定状態、損傷の有無 ○ドアストッパーの設定状態の点検 ○ドアクランク部の固定状態、プーリ・スプロケットのガタ・芯ズレの有無、ベルト・チェーンのテンション・損傷・異常摩耗の有無の点検
	かご上ステーション	<ul style="list-style-type: none"> ○ステーション（盤）の固定状態、カバーの開閉状態の点検 ○各安全スイッチの動作の点検 ○基板の取付状態、配線状態、コネクタの接続状態、発光

		ダイオードの点灯状態の点検 ○大容量電解コンデンサ劣化の点検
	非常止め装置	○非常止め装置のボルトの緩み、クワエ金とレールの間隙、各軸・ピンまわり給油状態、非常止め動作スイッチ作動状態、連動部汚損、異物混入の有無の点検 ○非常止め装置の動作状態の点検
	ガイドシュー	○ガイドシュー（ローラー）の取付状態、横振れ（遊び）の状態、レールとシューの間隙、給油状態の点検 ○ローラーの取付状態、タイヤの摩耗状態、亀裂・剥離・油付着の有無の点検
	救出口	○救出口の開閉状態、施錠の状態の点検
	はかり装置	○はかり装置の取付状態、ピンまわりの給油状態、スプリング劣化の有無、端子の緩み、配線状態、防芯ゴムの劣化・変形の有無の点検
	その他機器	○ファン・デフューザの汚損の有無、取付状態、給油状態、端子の緩み、防芯ゴムの劣化・損傷の有無の点検 ○ケーブルハンガーの取付状態、ケーブルクリップの緩みの点検 ○継ぎ箱のカバーの取付状態、端子の緩み、配線状態の点検 ○かご室組立ビスの緩み、かご枠組立ボルトの緩み、かご枠・床材の発錆・損傷の有無、配線状態の点検
昇降路	昇降路	○昇降路周壁のヒビわれの有無、漏水の有無の点検
	終点スイッチ	○取付ボックスの固定状態、曲がり・変形の有無、関係寸法の点検 ○スイッチのローラーの摩耗状態、ピンまわり給油状態、ローラーのストローク、接点の荒損状態、端子の緩みの点検
	着床リレー	○着床リレーの固定状態の点検 ○プレートとの隙間の点検 ○コネクタの接続状態の点検
	配管 配線 継ぎ箱	○配管・配線状態、ケーブル損傷の有無、取付ボルト・ビスの緩みの点検 ○分岐BOX内、コネクタの接続状態の点検
	ガイドレール	○レールの損傷の有無、ジョイント部段差の有無、固定ボルトの緩み、発錆・損傷の有無の点検
	ロープ	○メインロープ・ガバナロープの摩耗・素線切れの有無、給油状態、テンション、発錆の有無、キンクの有無の点検

		○ロープソケットの亀裂・発錆の有無、バビットの状態、ロープ端末部発錆の有無、ダブルナットの緩み、スプリングの劣化の点検
	着床レプレート	○プレートの取付状態、曲がり・変形・発錆の有無、関係寸法の点検
	移動ケーブル	○ケーブルの損傷の有無、動特性の点検 ○ケーブルハンガーの取付状態、ケーブルクリップの緩みの点検 ○ケーブル鋼芯の素線切れ、発錆の有無、キンク有無
	乗場戸まわり	○非常開錠装置の異常の有無の点検 ○インターロックスイッチの固定状態、戸の引き手の関係寸法、戸の引き手（ローラー）の劣化・亀裂の有無、セリの有無、動作位置設定状態、曲がり・変形の有無、接点のフォローアップ、接点の荒損状態、端子の緩み、スイッチボックスカバー損傷の有無の点検 ○ハンガーケースの固定状態、発錆・変形の有無、ドアストッパゴム脱落の有無、カバー取付状態の点検 ○全域クローザ取付状態、ロープ劣化の点検
	油圧ジャッキ	○油圧ジャッキの固定状態、亀裂・発錆・損傷の有無、プランジャー表面の損傷の有無、油膜の状態、パッキンの劣化・損傷の有無、空気混入の有無、ボルトの緩みの点検 ○そらせ車の取付状態、軸受給油状態、シーブの摩耗状態の点検 ○ガイドシューの取付状態、軸受給油状態、シーブの摩耗状態の点検 ○給油器の取付状態、給油状態、灯芯の摩耗状態の点検 ○頂部返し車の固定状態、シーブの溝の摩耗状態、軸受の給油状態の点検
	その他機器	○はかり装置・ロープ緩みの取付状態 ○ロープの振れ止めの固定状態 ○端子箱の取付状態、端子の緩み、配線状態の点検 ○その他固定ボルトの緩み、配線状態の点検
ピット	ピット	○ピット漏水の有無、清掃状態の点検
	緩衝器	○緩衝器の固定状態、発錆・損傷の有無、緩衝器台の固定状態の点検
	調速機	○調速機の固定状態、シーブの溝の摩耗状態、軸受・ピンまわりの給油状態、端子の緩み、接点のフォローアップの点検

		<p>○調速機の作動速度の点検</p> <p>○制限スイッチのキックピンの取付状態、関係寸法、接点のフォローアップ、接点の荒損状態、スプリング劣化の有無、端子の緩み、配線状態の点検</p>
	油圧配管	○各配管の固定状態、発錆・損傷の有無の点検
	ジャッキ台	○ジャッキ台の固定状態、発錆・損傷の有無の点検
かご室乗場	かご	○かご運転状態、加速・減速・着床・停止状態・走行状態異常音の有無、戸開閉状態、DLD・セーフティシユール動作、かご・乗場ボタン動作、かご・乗場インジケータ点灯状態、停電灯点灯状態、かご照明点灯状態の点検
	意匠・照明	<p>○かご室パネル・天井・化粧柱・床の損傷・変形の有無、変色・腐食の有無、目地のガタ・隙間の有無、床タイルの摩耗・浮上がりの有無の点検</p> <p>○各銘板の取付・汚損状態の点検</p> <p>○乗場戸・出し入れ口・三方枠の損傷・変形の有無、変色・腐食の有無の点検</p> <p>○かご照明の端子の緩み、ソケットの損傷の有無、カバーの損傷・変色の有無、カバーの取付状態の点検</p>
	かご内操作盤	<p>○かご内操作盤カバーの取付状態・損傷・変形の有無、押ボタンの亀裂・損傷の有無の点検</p> <p>○かご内操作盤内部の端子の緩み、配線状態、コネクタ接続状態、ランプソケットの状態、接点の荒損状態の点検</p>
	かご室・乗場位置表示機 乗場押ボタン	<p>○位置表示器のカバーの取付状態、損傷・変形の有無、カバーの損傷の有無、ランプソケットの状態、端子の緩みの点検</p> <p>○押ボタンの亀裂・破損の有無、端子の緩み、配線状態、コネクタ接続状態、接点の荒損状態の点検</p>
	連絡装置 [インターホン]	○(外部)連絡装置の押ボタン破損・セリの有無、通話状態・ブザーの点検
	その他	○最上階乗場ユニットカバーの施錠状態、開閉状態、破損の有無の点検
	車椅子仕様	専用乗場ボタン
専用操作盤 ボタン		<p>○操作盤カバーの取付状態、損傷・劣化の有無、押ボタンの亀裂・損傷の有無、ランプの劣化の点検</p> <p>○操作盤内部の基板の取付状態、配線状態、ハンダの状態、接点の荒損状態の点検</p>

	鏡	○固定状態、汚れ・損傷の有無の点検
	手すり	○固定状態・損傷の有無の点検
	光電式ドアセンサ	○投光器、受光器の固定状態、配線状態、コネクタの接続状態の点検 ○基板の取付状態、コネクタの接続状態、配線状態、ハンダの状態の点検 ○電源装置の固定状態、コネクタの接続状態、絶縁状態、電圧の点検
	その他	○戸閉速度の動作状態の点検 ○戸開放時間制御の動作状態の点検 ○自動着床修正装置の動作状態の点検
停電時 自動着床装置	MELD盤	○盤の固定状態、扉（カバー）の開閉状態、曲がり・変形の有無の点検 ○継電器・接触器の取付状態、損傷の有無、接点のフォローアップ、接点の荒損状態、箱のカバーの取付状態、端子の緩み、配線状態の点検 ○ヒューズの取付状態、劣化の有無の点検 ○その他機器の取付状態、損傷の有無、端子の緩み、ハンダの状態、配線状態の点検 ○各回路電圧・絶縁状態の点検
	バッテリー	○バッテリーの状態、端子の緩み、バッテリー液の量・比重の点検
地震時管制 運転装置		○地震感知器の取付状態、設置状態、動作状態の点検 ○継電器の取付状態、接点のフォローアップ、接点の荒損状態、ハンダの状態の点検 ○監視盤のランプの点灯状態、ブザーの点検 ○動作状態の点検
音声合成 アナウンス装置		○装置本体の取付状態、カバーの開閉状態の点検 ○基板の取付状態、配線状態、コネクタの接続状態、ハンダの状態の点検 ○スピーカーの取付状態、配線状態、コネクタの接続状態の点検 ○電源電圧の点検 ○作動状態の点検 ○音声・音量の状態の点検

〈別表－Ⅱ〉 リモート点検「機器点検」内容

点 検 項 目		点 検 内 容
制御関連機器 (機械室)	室内環境	機器温度
	巻上機(パワーエット)	ブレーキ(バルブ)動作状態
	制 御 盤	接触器動作状態
		制御機器動作状態
かご関連機器	かごの戸	戸の開閉状態
		ドアスイッチ動作状態
	かご操作盤	押ボタン動作状態
	照明灯	点灯状態
	外部連絡装置	インターホン電源電圧状態
乗場関連機器	乗場の戸	開閉状態
		ドアスイッチ動作状態
	乗場押ボタン	動作状態
昇降路内関連機器	安全スイッチ	動作状態
運 転 性 能		起動状態
		加速状態
		一定速状態
		減速状態
		着床状態

〈別表－Ⅲ〉 消耗部品

部 品 名	
可動・固定コンタクト	
ヒューズ	
V型抵抗管	
ベルト	
灯芯	
照明用ランプ、スターター	注1
インジケータ用ランプ	注1
操作盤・乗場押ボタン用ランプ	注1
停電灯用ランプ	注1
点検用オイル・グリス類	注2
ウェス、サンドペーパー	
ビス、ナット、ワッシャー	
E型ランディングスイッチカム	

注1：ランプ関係には、スリムライン、ネオン管、インテリア照明、その他特殊な発光体は含まない。

注2：巻上機ギヤオイル、油圧式エレベーターの作動油及び緩衝器作動油は含まない。

〈別表－Ⅳ〉 機器の構成部品の修理、取替の範囲

工 事 項 目	
そらせ車、頂部返し車	シーブ溝削正
	軸受取替
油圧パワーユニット	バルブ取替
	電磁コイル取替
	ポンプ軸受取替
	メカニカルシール取替
	Vベルト取替
	サクション(ポンプ)フィルター・ストレーナ取替
	サイレンサー取替
	圧力計(圧力センサ)取替
	磁気式エンコーダ取替
油圧回路部品	ラジエータ取替
	ラジエータファン取替
	ラジエータオーバーホール
	ラジエーターポンプ取替
	Oリング取替
	V I Cジョイント取替
	サーモスイッチ(油温センサ)取替
調速器	軸受取替
	シーブ取替
張り車(ガバナ・つり合ロープ)	軸受取替
	シーブ取替
かご枠	防振ゴム取替
	かご速度検出器取替
	かご速度検出器(ワイヤロープ)取替
吊り車	軸受取替
非常止め装置	フリクションダンパー取替
ガイドシュー	シュー(ローラー)取替
	防振ゴム取替
給油器	給油器取替
かご戸装置	ドアレール取替
	レバー機構取替
	リトラクタブルベーン取替
	綱カケ滑車取替
	連動ロープ(ベルト)取替
ドアマシン	プーリ(スプロケット)取替
	駆動チェーン切詰・取替
	軸受取替
	位置スイッチ取替
	ドアモーター取替
かご、乗場 ドアハンガー・ドアシュー	ドアハンガー組立取替
	ドアシュー
ゲートスイッチ	ゲートスイッチ取替
セーフティシュー	キャプタイヤコード取替
	アーム取替(接触棒含む)

乗場戸装置	ドアレール取替
	全域クローザー取替
	戸の引き手（ローラー）取替
	連動ロープ取替
	綱カケ滑車取替
インターロック	インターロック取替
メインロープ	メインロープ切詰・取替
ガバナロープ	ガバナロープ切替・取替
油圧ジャッキ	Ｏリング取替
	パッキン取替
	バックアップリング取替
	グランドメタル取替
	ダストワイパー取替
	防振ゴム取替
	ブランジャー取替
油圧作動油	油圧作動油取替
	油圧油作動クリーニング
巻上(ポンプ)電動機	軸受取替
	ラジエータファンモーター取替
受電盤	N F ブレーカ取替
制御盤	リレー本体取替
	半導体プリント板取替
	コンデンサ取替
	インバータ取替
	コンバータ取替
制御盤	整流器取替
	変圧器取替
はかり装置	スイッチ取替
各種昇降路内スイッチ	終点スイッチ取替
	着床装置取替
外部連絡装置電源	外部連絡装置電源取替
パルスタコ・エンコーダ	エンコーダ取替
移動ケーブル、電線	プロテクター取付・補修
	かごまわり配線取替
	移動ケーブル取替
	その他ケーブル取替
換気装置	ファンオーバーホール・取替
ヒューマンドアセンサ	ヒューマンドアセンサ取替
付加装置	停電時管制運転装置用リレー取替
	停電時管制運転装置用バッテリー取替
	地震感知器取替
	音声合成アナウンス装置用半導体ユニット取替
	音声合成アナウンス装置用バッテリー取替
音声合成アナウンス装置用スピーカー取替	

要領9

テクノプラザ本館
自動ドア保守点検業務実施要領

- 1 設置機種 電動式自動扉開閉装置 DS-21型 2台
 電動式自動扉開閉装置 DS-60型 2台
- 2 点検内容

点検作業部名		点検 確認	調整 (制御)	整備	清掃	備考
1	外観点検					
ドア・サッシ	無目点検カバーの取付状態	○			○	落下防止
	ガイドレール内の状態	○			○	異物清掃
	扉の状態	○		○		緩み確認
	扉の鍵の作動	○		○		施錠確認
	全閉時の戸先隙間	○		○		ドア建付調整
2	ドア可動部点検					
懸架部	ハンガーレールの磨耗・締め付け	○		○	○	緩み確認
	吊戸車の磨耗・損傷・締め付け	○		○	○	緩み確認
	踊り止隙間	○		○		脱輪防止
	ドアストッパーの締め付け	○		○		緩み確認
3	モータ（エンジン）・駆動部機構点検					
動力部・作動部	手動開閉	○		○		モーター異常
	異音	○		○		モーター異常
	エンジンの締め付け	○		○		緩み確認
	駆動軸の変形・磨耗	○		○		モーター異常
	プーリーの変形・磨耗（駆動：従動）	○		○		ベルト外れ
	ベルト・チェーン・ワイヤの締め付け・張り・磨耗	○		○		緩み確認
4	コントローラー調整					
制御装置	開速度	○	◎			速度調整
	閉速度	○	◎			速度調整
	クッション作動	○	◎			速度減速
	開き保持時間	○	◎			タイマー調整
5	検知（センサー）部点検					
検出装置	センサー検出範囲・感度	○	○			
	補助センサー作動（NZ-C）	○	○			
	内部センサー型式（1F：NH-60 4F：電子マット）	○	○			
	外部センサー型式（1F：NH-60 4F：電子マット）	○	○			
6	電気配線・作動状況の確認					
電気回路	総合動作（通常開閉動作・反転動作）	○	◎			
	配線の支持・持続	○		○		駆動部との接触
	電源電圧（不具合時のみ動作確認）	○		○		
	絶縁抵抗（不具合時のみ動作確認）	○		○		
	電線被覆の状態	○		○		駆動部との接触
7	安全・使用状況確認					
安全確認	開閉回数	○	◎			
	セーフティリターン回数（点検後、0にリセット）	○	◎			異常作動回数
	警告表示ラベル	○				注意シール貼付

◎：調整等操作には、ナブコ製自動ドア制御部調整用機器（ハンディターミナル）を使用すること。

要領 10

岐阜県科学技術振興センター
ホール吊物・照明装置保守点検業務実施要領

1 対象物件

(1) 吊物装置

①照明ボタン	2 台
②美術ボタン	1 台
③操作盤・制御盤	1 式

(2) 照明装置

①調光ユニット・調光器盤	1 台
②照明操作卓	1 台
③回路制御卓	1 台
④照明器具	1 式
⑤主幹配電盤	1 台

2 点検内容

- ・利用の都度、異常の有無を確認すること
- ・年に一度は定期点検を行うこと。内容は次のとおり

①吊物機構

点 検 項 目	点 検 内 容	点検方法
スノコ上の状態	落下物の有無	目視
	障害物の有無	目視
電動機	異常音の有無	聴診
	異常温度の上昇の有無	聴診
	取付部緩みの有無	増締
	取付部変形の有無	目視
	取付部亀裂の有無	目視
減速機	異常音の有無	聴診
	取付部緩みの有無	触診
	取付部亀裂の有無	目視
	油切れの有無	目視
	油漏れの有無	目視
ウインチドラム	異常音の有無	聴診
	亀裂の有無	目視
	変形の有無	目視
	回転軸ガタの有無	触診
	回転軸油切れの有無	目視
	回転軸ボルト緩みの有無	増締

駆動軸	取付部緩みの有無	増締
	取付部亀裂の有無	目視
	油切れの有無	目視
ワイヤー	キンクの発生の有無	目視
	破断の有無	目視
	ジャム発生の有無	目視
	巻緩みの有無	目視
リミットスイッチ	開閉動作異常の有無	運転確認
	取付部緩みの有無	増締
	取付部変形の有無	目視
	取付部亀裂の有無	目視
電気配線	結束部緩みの有無	増締
	圧着部緩みの有無	目視
	結束の状態	目視
締結部	取付ボルトの緩みの有無	増締
総合動作	巻上下動作	運転確認

②吊物操作盤、制御盤

点検項目	点検内容	点検方法
表示ランプ	球切れの有無	目視
	取付部緩みの有無	触診
操作スイッチ	開閉動作	運転確認
	取付部緩みの有無	触診
端子台	ネジの緩み	増締
	絶縁抵抗（電動機）	計測
	損傷の有無	目視
リレー	開閉動作	運転確認
	差込み部緩み	触診
配線	圧着部断線の有無	目視
	結束の状態	目視
筐体	損傷の有無	目視

③調光装置

点検項目	点検内容	点検方法
主幹配電盤	総主幹MCB（開閉機）	動作テスト
	操作系MCB（開閉機）	動作テスト
	受電表示灯	目視
	直流電源（制御）用	計測

	各ヒューズ類	目視
	各トランス類	目視
	異常音・温度上昇	聴診
	幹線接続状態	目視
	内部配線状態	目視
	端子台（破損・締付）	増締
	負荷側分岐MC B	動作テスト
	各部品取付状態	目視
	外観・構造	目視
調光ユニット・調光器盤	幹線接続状態	目視
	冷却ファン回転	動作テスト
	調光器コネクター状態	触診
	負荷側MC B	動作テスト
	N（O）相スイッチ	動作テスト
	表示灯用（トランス・抵抗器・基盤）	目視
	電源ファンブロック	動作テスト
	調光器制御回路部	動作テスト
	直調切替スイッチ	動作テスト
	調光器用MC B	動作テスト
	各ヒューズ類	目視
	各部品取付状態	目視
	盤内埃り状態	目視
	端子台（破損・締付）	増締
	異常音・温度上昇	聴診
	外観・構造	目視
	照明操作卓 （フェーダーレベル記憶・ P F G コネクション装置）	総 主 幹（押釦・キースイッチ）
操 作（押釦・キースイッチ）		動作テスト
客席主幹（押釦・キースイッチ）		動作テスト
マスターフェーダー		動作テスト
クロスフェーダー		動作テスト
プリセットフェーダー		動作テスト
客席フェーダー		動作テスト
回路スイッチ		動作テスト
演算回路（基板）		動作テスト
客席自動回路		動作テスト
客席直調スイッチ		動作テスト
A C 電圧計指示値		計測
A C 電流計指示値		計測

	切換スイッチ類	動作テスト
	P F G スイッチ類	動作テスト
	負荷表示灯	点灯テスト
	各表示灯	点灯テスト
	制御用直流電圧	計測
	リレー用直流電圧	計測
	表示灯用電圧	計測
	記憶用押釦動作	動作テスト
	デジタル式 P F G 表示器	目視
	P F G - E, C, S 用動作	動作テスト
	フェーダーレベル記憶動作	動作テスト
	記憶用表示器	目視
	呼出し・実行表示器	目視
	P F G - E, C, S 用電源	目視
	レベル記憶用電源	目視
	各基盤実装状態	目視
	各部品実装状態	目視
	制御用コネクタ接続状態	触診
	卓内配線状態	目視
	冷却ファン回転・清掃	動作テスト
	各ヒューズ類	目視
	端子台(端子締付)	増締
	盤内灯・盤内スイッチ	点灯テスト
	プレビューチェック押釦	触診
	P F G 仕込み押釦	触診
	個別修正用押釦	触診
	外観・構造	目視
回路制御卓 (プリセットフェーダー卓)	プリセットフェーダー	動作テスト
	回路スイッチ	動作テスト
	プレビューチェック押釦	動作テスト
	P F G 仕込み押釦	動作テスト
	個別修正用押釦	動作テスト
	負荷選択押釦	動作テスト
	各表示灯	点灯テスト
	A C 電圧計指示値	計測
	A C 電流計指示値	計測
	マグノカラー回路	計測
	演算回路(基板)	目視

	仕込みデジタル表示器	目視
	モード選択押釦	動作テスト
	E, C, S 接続状態	触診
	フェーダーレベル記憶動作	動作テスト
	制御用コネクタ接続状態	触診
	基板実装状態	目視
リモコン操作器	作業灯押釦	動作テスト

④舞台照明設備

点検項目	点検内容	点検方法
サス・ホリゾン・フライダクト 関係	フライダクトの破損状態	目視
	15A引掛型コンセントの状態	目視
	20A型コンセントの状態	目視
	30A型コンセントの状態	目視
	60A 型コンセントの状態	目視
	吊り下げバンド留め状態	目視
	端子台 (損傷・締付)	増締
	給電ケーブルの状態	触診
	給電ケーブルの留め金具	目視
	落下防止金具の状態	目視
	引留碍子取付状態	目視
	接続端子台締付状態	増締
	照明器具吊り下げ状態	触診
	器具落下防止チェーン	触診
	照明器具状態	目視
	照明器具プラグ破損	目視
シーリング・フロントサイド センタースポット室	吊り下げパイプ取付状態	目視
	20A型コンセントの状態	目視
	30A型コンセントの状態	目視
	60A 型コンセントの状態	目視
	コンセントボックスの状態	目視
	分電盤破損状態	目視
	分岐用MC B	触診
	コネクタ破損状態	触診
	フォローピンスポット	触診
	整流器動作状態	動作テスト
	客席操作系動作	動作テスト
	延長コードの破損状態	触診
	照明器具プラグ破損	目視
	照明器具状態	目視
端子台端子締付状態	増締	

	器具落下防止チェーン状態	触診
フロアー・ウォールコンセント	フロアーコンセントボックスの状態	目視
	20A 型コンセントの状態	目視
	30A 型コンセントの状態	目視
	60A 型コンセントの状態	目視
	100A 型コンセントの状態	目視
	表示灯ランプの状態	目視
	回路名称状態	目視

要領 1 1

テクノプラザ本館 清掃業務実施要領

1 清掃面積

・清掃床面積	7, 6 5 2 m ²
・ガラス清掃面積	4, 3 6 0 m ²
・屋外駐車場 (ブイ・アール・テクノセンター入居者専用駐車場、来館者駐車場、第2駐車場、北棟職員駐車場)	7, 7 4 7 m ²
・屋外通路 (歩道部分)	1, 8 9 4 m ²
・緑地	1 1, 7 5 4 m ²

2 日常清掃業務

(1) 床の清掃

① タイルカーペット等

真空掃除機を使用し、丁寧に土砂・塵埃を除去する。特に汚れの甚だしい部分は適性洗剤で汚れを除去する。煙草による焼け焦げ等は、その部分を交換し又は補修する。

② ゴムタイル等

ダストモップ等で紙屑、埃、土砂等を除去する。特に汚れの甚だしい部分は洗剤をつけて拭き上げる。

③ 石材等

ダストモップ等でゴミ、塵を掃きとった後、真空掃除機で集塵し、その後湿ったモップで拭く。

特に汚れのひどい部分は、洗剤等で洗い落とし、乾いた布で拭きとる。

④木質床材等

ダストモップで細かい埃等を除去する。特に汚れが目立つ部分は堅絞り水モップで拭き上げる。

⑤コンクリート、モルタル等

床面の掃き掃除を行い、土砂が多い場合は水洗いをする。また、油汚れは適性洗剤を使用する。

(2) 壁面低所

廊下、ロビー、エレベーター扉等の共用部分の壁面等については、常に帯電モップ等で丁寧に払う。

(3) 紙屑、茶殻の処理

紙屑は、ダストカート等で所定の場所に集め、茶殻はバケツからポリ袋に入れ替えて所定の場所に集め、搬出する。

(4) 灰皿、屑籠の清掃

灰皿は水洗いしたうえ乾いた布で水分をとり、定められた場所に配置する。
また必要に応じて適性洗剤で磨く。

- (5) 手すり、ノブ、窓台等の清掃
塵埃を除去した後、乾いた布で空拭きする。また必要に応じて湯にひたした雑巾や洗剤等適切な方法により、手垢などの汚れを拭きとる。
- (6) 什器備品、電話台等の清掃
塵埃を除去した後、乾いた布で空拭きする。また、適切な方法で汚れを拭きとる。
- (7) 鏡、ガラス、ステンレス等の清掃
出入口、洗面所、エレベーター等のガラス、鏡、ステンレス類は、水又は適性洗剤を用いて拭き上げる。
- (8) トイレの清掃
- ① トイレの床は水拭きして常に清潔にし、便器は洗剤で内側をよく洗い、周囲及び金属部は水拭きする。便器内に汚水が詰まった場合は応急処置のうえ連絡する。
 - ② トイレトペーパー、ペーパータオル、水石鹸は毎日点検し、空の状態とならないよう不足分を補充する。
 - ③ 女子便所の汚物は、容器から取出し、所定の場所まで運び、容器は水洗いする。
 - ④ 洗面台は、周辺部を含めて水拭きし、必要に応じて洗剤拭きをする。
- (9) 湯沸室の清掃
湯沸器及び流し台は、随時水拭きし、常に清潔に保ち、茶殻、吸殻等のゴミは毎日処理する。特に吸殻は水をかけて処理する。
- (10) エレベータの清掃
エレベータの内部は、毎日、掃除のうえ空拭きする。また必要に応じて適性洗剤で拭き上げる。
- (11) 共同研究室、展示ホール等の清掃
高価なOA機器が設置されている室は、粉塵等の立たない方法により清掃する。
- (12) 科学技術図書資料室の閲覧机、書架等の清掃
机の上は、拭き掃除を行い清潔に保つこと。なお、必要に応じて湯に浸した雑巾や洗剤等適切な方法により、拭き掃除を行う。また、書架天板の埃などを月1回程度、毛叩き等で払う。
- (13) 玄関、出入口の清掃
玄関、出入口の床面は、毎日塵埃の掃き出しを行い、モップで水拭きをして泥土等の汚れを落とす。
雨天の場合は、傘袋スタンドを玄関、ロビーに設置し、雨があがったら傘袋スタンドを片付け水取り並びに掃き掃除をする。
- (14) プラザホール内部の清掃
ホール客席、舞台の床、机及び椅子等は使用の都度、掃き掃除、吸塵清掃等を行う。
机上の汚れは必要に応じて水拭き等を行う。
- (15) 貸出会議室内部の清掃及び貸出備品の後片づけ
会議室内の床、机及び椅子等は使用の都度、掃き掃除、吸塵清掃等を行う。机上の汚れは必要に応じて水拭き等を行う。
また、室内に貸出備品がある場合は、後片づけを行う。

(16) リラクゼーションエリア

リラクゼーションエリアの洗面台、トイレ、浴槽、床、椅子及び机等は、使用のつど掃き掃除、拭き清掃及び吸塵清掃等を行う。

(17) 屋上排水溝（スノコ縁部分を含む）の清掃

屋上排水溝等のゴミ、落葉等を必要に応じて除去する。

(18) 外通路（歩道）

① 掃き掃除し、ゴミ紙屑等を除去する。

案内板等の汚れは、適切な方法で拭く。

② 敷地内排水溝は、スコップ等で泥上げし、ホースで水を流し、上げた泥は指定場所へ搬出して処分する。

③ 降雪時は、状況に応じて必要な箇所をスコップ等により除雪する。

(19) 緑地

緑地帯のゴミ、落葉等を必要に応じて除去する。

（緑地帯の雑草処理は緑地管理業務に含むものとし、清掃業務の対象とはしない。）

(20) 屋外駐車場

定期的に巡回し、タバコの吸い殻等を回収し、汚れのひどい箇所はシダ箒等で掃除する。

(21) ゴミの集積

各清掃場所から収集したゴミは、紙屑・茶殻等の有機物、吸殻・ビニール等の化学物質、ガラス・金属電池等の不燃物質等に分別し、指定された集積所に集積する。

集積所の内外は清潔を保ち、ねずみ、害虫、悪臭等が発生しないよう常に注意する。

(22) 陸屋根部分排水溝の清掃

陸屋根部分にある排水溝にたまったゴミ、落葉等を必要に応じて除去する。

3 定期清掃

(1) 床の清掃

① ソフトフロアの清掃 年1回

・タイルカーペット等

繊維素材に適したしみ取りを用いてしみ抜きし、洗浄する。特に汚れの甚だしい部分は、クリーニングを行い、丁寧に汚れを除去する。

② ハードフロアの清掃

・ゴムタイル等 年2回

床面の汚れを十分に洗浄して拭き取る。

特に汚れが目立つ部分は剥離洗浄を実施する。

・石材等 年2回

床面の汚れを十分に洗浄して拭き取る。

特に汚れが目立つ部分は剥離洗浄を実施する。

・木質床材等 年2回

汚れの状況により洗剤洗いをし、適性ワックスを塗布する。

(2) 便器、排水口等の清掃 月1回

- ① 便器・洗面器は薬液等により洗浄し、汚れを除去すること。
- ② 便器・湯沸室棟の排水口は、随時見回り清掃を行う他、綿密に点検し、ゴミ等を除去する。

なお、ゴミ等は下水に流さないよう容器に入れ、指定場所へ集積する。

(3) 北棟汚水清掃及びポンプ点検 年2回

共同浄化槽への中継槽であるため、清掃・点検を実施し害虫などが発生しないようにする。

(4) マンホール点検調査 年1回

敷地内に雨水マンホール（75か所）、汚水マンホール（24か所）について点検し、詰まりがある個所は清掃し大雨時に溢れることのないようにする。

(5) 雨どい点検 年1回

落ち葉などが溜まっていないか点検し、清掃を実施する。

4 ガラス清掃

(1) 外装ガラス（階段上部ガラスを除く）の清掃 年2回（6ヶ月ごとに1回）

洗剤等を用いてガラス内外面の汚れを除去し、曇り等を十分に拭き取る。窓枠等は防塵した後、雑巾等で拭きとる。

(2) 室内、廊下ガラスの清掃 年2回（6ヶ月ごとに1回）

室内の廊下ガラスは、洗剤等を用いてガラス内外面の汚れを除去し、曇り等を十分に拭き取る。

(3) 中央階段（1階～4階）のトップライトの清掃（年1回以上、必要に応じて）

水アカ、落ち葉等によるガラス外面の汚れを除去する。

要領 1 2

岐阜県科学技術振興センター 映像音響設備保守点検業務実施要領

1 業務の内容及び点検実施回数

- (1) 定期点検内容は、別紙「主要設備機器一覧表」の保守点検業務内容のとおりとする。
- (2) 定期点検回数は、年間1回とする。
- (3) 点検は、メーカーが示す標準仕様に基づき行うものとする。また、部品（消耗部品を含む）の取替については、メーカーの指定する純正部品を使用するものとする。
- (4) 定期点検以外に本設備の整備不良又は故障等があった場合は、指定管理者は速やかに必要な措置を行うものとする。
- (5) 前各号のほかに、保守業務の必要が発生した場合は、指定管理者は、速やかに応急措置にあたるとともに、県に状況を報告するものとする。

2 結果報告

各定期点検完了後、指定管理者は報告書を作成し、県に提出するものとする。

3 点検後の措置

点検の結果、設置保守上、不備と認められる事項については協議の上処置する。

別紙

主要設備機器一覧表（プラザホール）

点検機器			保守点検業務内容				備考
品名	形式	数量	機能点検	調整	清掃	修理	
1	映像表示部						
プロジェクター	EB-G6250W	1	○	○	○		EPSON
230型フロントスクリーン	特型	1式	○		○		SONY
電動バリアブルカーテン	特型	1式	○	○	○		SONY
14型カーモニター	PHM-14M7J	3	○	○	○		SONY

2	HD映像送出部						
BS/CS/TVチューナー	SAT-900TV	1	○		○		SONY
ハイビジョンLDプレーヤー	HIL-C2EX	1	○	○	○		SONY
MUSEデコーダー	MSC-4000	2	○		○		SONY
HDビデオディスクプレーヤー	HDL-2000	1	○	○	○		SONY
HDマトリックススイッチャー	特型	1式	○		○		SONY（朋栄）

3	外部CPU入力周辺機器						
RGBスイッチャー	PC-1271J	1	○		○		SONY
インターフェースユニット	IFU-1271J	6	○		○		SONY
デジタルスキャンコンバーター	9135型	1	○		○		クロマテック
外部CPU入力パネル	特型	6セット	○		○		SONY

4	AVコントロール卓部						
高精細資料提示装置	HI-3000XH	1	○		○		ニコン
14型カーモニター	PHM-14M7J	2	○	○	○		SONY
タッチパネルCRT	7407TD17	1	○		○		タッチパネルシウテムズ
マイク	F-780	1	○		○		SONY
AVコネクターパネル	特型	1	○		○		SONY
分配器	DD-160A	1	○		○		SONY
9型カーモニター	PVM-9040	1	○	○	○		SONY

5	カメラ部						
壁面ビデオカメラ（付属品共）	DXC-950	2	○	○	○		SONY（フジノン）
電動旋回台（ 〃 ）	CPT-1A-10D 他	2	○		○		フジノン
移動式ビデオカメラ（ 〃 ）	DXC-D30	1	○	○	○		SONY

カメラコネクターパネル	特型	4	○		○		SONY
カメラセクター	特型	1	○		○		SONY
カメラアダプター	CA-537	3	○		○		SONY
電動ズーム/旋回台コントローラー	EOP-1025-30D	2	○		○		フジノン
カメラコントロールユニット	CCU-M5	3	○		○		SONY
DMEスイッチャー	DFC-500	1	○		○		SONY
14型カラーモニター	PVM-14M4J	2	○	○	○		SONY
9型カラーモニター	PVM-9041Q	4	○	○	○		SONY
ベータカムVTR	PVW-2800	1	○	○	○		SONY

6	ビデオ映像送出部						
デジタルベータカムプレーヤー	DVW-A510	1	○	○	○		SONY
S-VHSプレーヤー	SVP-5600	1	○	○	○		SONY
リモートコントロールユニット	SVRM-100A	1	○		○		SONY
Hi-8レコーダー	EVO-9850	1	○	○	○		SONY
35ミリフィルムコンバーター	TRV-35H	1	○		○		エルモ
デジタルビデオディスクプレーヤー	DVDS50	2	○		○		Panasonic
NTSCマトリックススイッチャー	特型	1	○		○		SONY (朋栄)
NTSC AUX入力パネル	特型	1	○		○		SONY (朋栄)
NTSC AUX出力パネル	特型	1	○		○		SONY (朋栄)
スキャンコンバーター	9135型	1	○		○		クロマテック
9型カラーモニター	PVM-9041Q	2	○	○	○		SONY
ケーブル補償器	VA-200EE	30	○		○		SONY

7	同時通訳システム						
コントロールユニット	SX-M700	1	○		○		SONY
赤外線送信機	SX-1070A	1	○		○		SONY
赤外線リジエーター	SX-9131A	6	○		○		SONY
通訳者ユニット	SX-P700	3	○		○		SONY
ダイナミックマイクホン	F-720	6	○		○		SONY
ヘッドホン	MDR-Z900	6	○		○		SONY
14型カラーモニター	PVM-14N1J	3	○	○	○		SONY
カセットレコーダー	SRP-CT3W	4	○	○	○		SONY
TCコントローラー	特型	1	○		○		SONY
セクター	VCS-63A	1	○		○		SONY
モニタースピーカー	AMS-3	1	○		○		SONY
補聴器誘導ユニット	HSR-60N	1	○		○		ソナール

8		マイクシステム部					
ワイヤレスマイクハンド型	WRT-804	4	○		○		SONY
ワイヤレスマイクタ化型	WRT-820	1	○		○		SONY
ワイヤレスチューナー	WRR-840	2	○		○		SONY
ワイヤレスアンテナ	AN-820	4	○		○		SONY
アンテナディバイダー	WD-820	1	○		○		SONY
エモーターマイク	F-720	2	○		○		SONY
卓上マイクホン	F-720	6	○		○		SONY

9		システム制御部					
制御CPU	SATELITE300CDS	1	○		○		SONY
15型カラーディスプレイ	CPD-15SF8	1	○	○	○		SONY
システムコントローラー	特型	1式	○		○		SONY
システムコントロールユニット	特型	1式	○				SONY
電動制御ユニット	特型	1	○		○		SONY
タッチパネルCRT	7407TD17	1	○		○		タッチパネルシウテムズ
パワーディストリビューター	SRP-D2000	7	○		○		SONY

10		オーディオシステム部					
フロントスピーカー	SRP-S3001M	3	○		○		SONY
サブウーファー	SRP-B3001M	2	○		○		SONY
リアスピーカー	SRP-S3001M	2	○		○		SONY
パワーアンプ	SRP-P300	7	○		○		SONY
シグナルプロセッサ	SRP-C3001M	5	○		○		SONY
天井スピーカー	406-32T	12	○		○		EVIオーディオ
パワーアンプ	PA-A1600M	3	○		○		SONY
グラフィックイコライザー	SRP-E1500	6	○		○		SONY
マルチエフェクトプロセッサ	DPS-V77	2	○		○		SONY
音声制御VCAユニット	SRP-200VC	4	○		○		SONY
サウンズプロセッサ	DC-1	1	○		○		レキシコン
MDレコーダー	MDS-B5	1	○		○		SONY
CDプレーヤー	CDP-D500	1	○		○		SONY
カセットレコーダー	SRP-CT3W	1	○	○	○		SONY
オーディオミキサー	SRP-V316	1	○		○		SONY
オーディオインコンバーター	SRP-200LC	10	○		○		SONY
音声分配器	SRP-D200	1	○		○		SONY
モニタースピーカー	AMS-3	1	○		○		SONY

1 1 インターカムシステム部							
インターカム設備	MS-232 他	1	○		○		クリアカム

1 2 バックアップシステムワゴン機器							
AV マルチスイッチャー	SL-83A	1	○		○		イメージニクス
BD レコーダー	BD-S520	1	○		○		シャープ
AV 入力パネル	特型	1	○		○		カレナ
AV 分配器	SB3772	1	○		○		SHINYBOW
RGB 分配器	VGASP2	1	○		○		SANWA
HD 分配器	SB3776	1	○		○		SHINYBOW

1 3 総合システム点検					
点検システム名	保守点検業務内容				備 考
	動作点 検	配線点 検	清 掃	据付状 態	
映像系システム	○	○	○		
音声系システム	○	○	○		
制御系システム	○	○	○		
ラック/卓 等			○	○	

主要設備機器一覧表 (AV会議室)

点検機器			保守点検業務内容				備考
品名	型式	数量	動 作	調 整	清 掃	修 理	
①ビデオプロジェクター設備							
プロジェクター及び架台	P9302T	1台	○	○	○		東芝
反射ミラー及び架台	特型	1式	○		○		東芝
100インチアスクリーン	2PTBFL.03P	1式	○		○		東芝
②ラック1(映像ラック)							
10型NTSCモニタテレビ	TM10-19R	1台	○	○	○		池上通信機
NTSCマトリクススイッチャ	SW-4000	1台	○		○		イメージニクス
TVチューナ	SAT-900T	1台	○		○		SONY
S-VHS VTR (再生用)	SV-5600	1台	○	○	○		SONY
S-VHS VTR (録画用)	SV-5800	1台	○	○	○		SONY
Hi8 VTR	EVO-9850	1台	○	○	○		SONY
βカム SP VTR	PVW-2600	1台	○	○	○		SONY
NTSC-EQA	JK-CC10	1台	○		○		東芝

ラインコンバータ	S R P - 200 L	1台	○		○		SONY
電源ユニット	S R P - D 200	1台	○		○		SONY
③ラック2(映像ラック)							
14型HDカラーモニター	T H M C - 14	1台	○	○	○		中央無線
B S / C S チューナ	C S R - 110	1台	○		○		東芝
赤外線コントローラ	R M - 3100	1台	○		○		エルモ
赤外線コントローラ	R M - 3100	1台	○		○		エルモ
MUSE-LDプレーヤ	H I L - C 2 E X	1台	○	○	○		SONY
D V D プレーヤ	D V D S 50	1台	○	○	○		Panasonic
AUXパネル (NTSC1系統)	特型	1式	○		○		東芝
カセットデッキ(再生用)	302	1台	○	○	○		タスカム
システムコントローラ	特型	1式	○		○		東芝
35mmスライド TVコンバ	T R V - 35 H	1台	○		○		エルモ
電源ユニット	S R P - D 200	1台	○		○		SONY
電源ユニット (VP1用)	S R P - D 200	1台	○		○		SONY
電源ユニット (VP2用)	S R P - D 200	1台	○		○		SONY
④ラック3(映像ラック)							
HDマトリクススイッチャ	R G B S / A S - 1616	1台	○		○		イメージニクス
スキャンコンバータ	D S C - 1024	1台	○		○		SONY
AUXパネル (HD1系統)	特型	1台	○		○		東芝
V P コントローラ	P V 9300	1台	○		○		東芝
スタックコントローラ	P I 9300	1台	○		○		東芝
M U S E デコーダ	M S C - 4000	1台	○		○		SONY
M U S E デコーダ	M S C - 4000	1台	○		○		SONY
信号変換器	C R C - 2	1台	○		○		イメージニクス
R G B E Q R	C A E - 200	1台	○		○		イメージニクス
R G B V D A	W B D - 13	1台	○		○		イメージニクス
ラインコンバータ	S R P - 200 L	1台	○		○		SONY
電源ユニット	S R P - D 200	1台	○		○		SONY
⑤ラック4(音声ラック)							
パワーアンプ (正面用)	S R P - P 300	1台	○		○		SONY
マイクミキサ	S R P - X 100	1台	○		○		SONY
オーディオミキサ	S R P - X 600	1台	○		○		SONY
サラウンドプロセッサ	D C - 1 A C 3	1台	○	○	○		レキシコン
グラフィックイコライザ (正面)	S R P - E 150	1台	○	○	○		SONY
グラフィックイコライザ (正面)	S R P - E 150	1台	○	○	○		SONY
グラフィックイコライザ (サラ)	S R P - E 150	1台	○	○	○		SONY
グラフィックイコライザ (サラ)	S R P - E 150	1台	○	○	○		SONY

グラフィックイコライザ (セン)	S R P - E 150	1台	○	○	○	SONY
グラフィックイコライザ (天井)	S R P - D 200	1台	○	○	○	SONY
パワーアンプ	S R P - P 50	1台	○		○	SONY
ワイヤレスチューナ	W R R - 840	1台	○		○	SONY
C D プレーヤ	C D P - D 500	1台	○		○	SONY
カセットデッキ (録音用)	302	1台	○	○	○	タスカム
V C A	S R P - 200 V	1台	○		○	SONY
V C A	S R P - 200 V	1台	○		○	SONY
V C A	S R P - 200 V	1台	○		○	SONY
音声切換器	特型	1式	○		○	東芝
電源ユニット	S R P - D 200	1台	○		○	SONY
⑥ラック5(音声ラック)						
パワーアンプ (サラウンド)	S R P - P 300	1台	○		○	SONY
パワーアンプ (センター)	S R P - P 300	1台	○		○	SONY
電源ユニット	S R P - D 200	7台	○		○	SONY
システムコントローラ	S C - 8800	1台	○		○	三菱電機
リモコン受光部	特型	2式	○		○	三菱電機
簡易ワイヤレス操作パッド	特型	1式	○		○	三菱電機
ワイヤレス操作パッド	P D - 8801	1台	○		○	三菱電機
受光部切換器	S W L 780 A	1台	○		○	ブラックボックス
10インチカラーモニタ	C M - 1070	1台	○	○	○	三菱電機
タイムベースコレクタ	F A - 30	1台	○		○	朋栄
インバースマルチプレクサ	I X - 1000	1台	○		○	三菱電機
管理パソコン	A R M A D A	1台	○		○	コンパック
パソコン切換器	S W L 030 A	1台	○		○	ブラックボックス
多地点間通信制御装置	M P - 500	1台	○		○	三菱電機
電源ユニット	S R P - D 200	1台	○		○	SONY
⑦パソコン卓						
VPアダプタ (DOS/V用)	C I F - 12 D	1台	○		○	イメージニクス
VPアダプタ (DOS/V用)	C I F - 12 D	1台	○		○	イメージニクス
VPアダプタ (M A C 用)	C I F - 12 M	1台	○		○	イメージニクス
VPアダプタ (S U N 用)	C I F - 12 S	1台	○		○	イメージニクス
VPアダプタ (S G I 用)	C I F - 12 I	1台	○		○	イメージニクス
⑧室内カメラ設備						
NTSCカラーカメラシステム	I K - T 40	1台	○	○	○	東芝
電動ズームレンズ	H Z 1707 S P	1台	○	○	○	ミカミ
電動旋回台 (含PSユニット他)	P T H - 12 - 1	1台	○		○	ミカミ
電源ユニット	A C - M 412 W	1台	○		○	東芝

NTSCカラーカメラシステム	I K-T40	1台	○	○	○		東芝
電動ズームレンズ	H Z 1707 S P	1台	○	○	○		ミカミ
電動旋回台 (含PSユニット他)	P T H-12-1	1台	○		○		ミカミ
電源ユニット	A C-M412W	1台	○		○		東芝

⑨スピーカー設備

正面スピーカ	S R P-S100	2台	○		○		SONY
センタースピーカ	S R P-S100	1台	○		○		SONY
サラウンドスピーカ	S R P-S100	2台	○		○		SONY
天井スピーカ	P A-S102	4台	○		○		SONY
コントロールユニット	S X-M100	1台	○		○		SONY
議長ユニット	S X-C100	1台	○		○		SONY
参加者ユニット	S X-D100	19台	○		○		SONY
ワイヤレスマイク (ハンド型)	W R T-804	1台	○		○		SONY
ワイヤレスマイク (タイピン型)	W R T-820	1台	○		○		SONY

⑩タッチパネルシステム

タッチパネルCPU	Equium6260	1台	○		○		東芝
タッチパネルCPU	7405TD15	1台	○		○		タッチパネルシステムズ
高精度書画カメラ	H I-300X H	1台	○	○	○		ニコン
R B B V D A	W B D-13	1台	○		○		イメージニクス
14型HDモニターテレビ	T M H C-14	1台	○	○	○		中婦無線
10型NTSCモニター	T M 10-19R	1台	○	○	○		池上通信機
電動ズーム/旋回台コントロー	O P-12-PSR/PCU	1台	○		○		ミカミ
電動ズーム/旋回台コントロー	O P-12-PSR/PCU	1台	○		○		ミカミ
卓上マイク	F-730	1台	○		○		SONY
卓上マイクスタンド	A-12/SAD-201	1台	○		○		SONY
AUXパネル (NTSC1系統)	特型	1式	○		○		東芝
電源ユニット	S R P-D200	1台	○		○		SONY
NTSC資料提示装置	E V-401A F	1台	○		○		エルモ

⑪テレビ会議装置

対象外

システムコントローラ	S C-8800	1台					
リモコン受光部	特型	1台					
ワイヤレス操作パット	P D-8801	1台					
回線切換器	S W L 182A	1台					
モジュラーアダプタ	F A 016	3台					
インバースマルチプレクサ	I X-1000	1台					
管理パソコン	A R M A D A	1台					
マトリクススイッチャ	S W-1010	1台					

映像分配器	D-8800	1台					
ラインミキサ	M-234	1台					
マイクミキサ	AT-MX60	1台					
バウンダリーマイク	PCC-160	2台					
パワーディストリビュータ	SRP-D200	1台					
⑫総合システム点検			動作点検	配線点検	清掃	据付状態	
映像系システム			○	○	○		
音声系システム			○	○	○		
制御系システム			○	○	○		
ラック/卓等					○	○	

要領 1 3

テクノプラザ本館
警備業務実施要領

第1 有人警備業務

1 警備員数 2ポスト

2 警備員室業務

(2) 勤務場所及び時間

①勤務場所 テクノプラザ5階警備員室

②時間 24時間

(3) 業務内容

①不審者の発見・侵入阻止

②来館者の案内対応

③障がい者の案内・誘導

④建物出入扉等の開鍵・施錠

⑤出入者と出入業者及びこれらの者の出入に伴う資材、機器等の搬出入の監視

⑥出入者名簿の記入確認

⑦電信・郵便物・伝言等の受理

⑧各種警報装置の監視及び操作

⑨夜間電話の対応及び記録

⑩監視カメラの操作及び監視

⑪必要箇所への連絡（避難誘導放送を含む。）及び緊急連絡先への通報

⑫日誌の作成

⑬鍵の保管

⑭遺失物・拾得物の一時保管

⑮その他警備上必要な業務

⑯VR工場の監視カメラモニタリング

3 巡回業務

(1) テクノプラザ敷地内及び外構柵付近を定時巡回・随時巡回に区分し、昼夜間において、1日2回以上行うものとする。

(2) 巡回時間

①定時巡回

a 午前6時00分から午前8時00分まで

b 午後8時30分から午後10時30分まで

②随時巡回

a 鍵等の返納のあった時

b その他必要と認める時

(3) 業務内容

①建物内外の火気点検確認及び異常時の緊急措置

②退室後の建物内各階、各室の施錠確認

- ③水道の閉塞状況の確認
- ④各階不要箇所の消灯
- ⑤電気機器の確認
- ⑥湯沸室等の点検
- ⑦不法侵入者、不退去者の発見及び阻止
- ⑧巡回を行わない時間は、次の業務を行う。
 - a 警備員室業務の補助
 - b 来館者の混雑時における整理
 - c 立哨
 - d 駐車場の整理
 - e エレベーターの監視
 - f 目的外駐車 of 監視、排除（来館者駐車場等）
 - g 大道具類等搬出入時の安全確保
 - h 時間外における諸出入口の施錠
 - i 国旗等の掲揚及び降納（雨天を除く。）

4 緊急時業務

(1) 火災発生時業務

- ①火災箇所の確認
- ②在館者への通報、指示、放送
- ③消火器・消火栓等による初期消火
- ④防火管理組織に基づく通報
- ⑤消防隊の誘導

(2) 地震発生時業務

- ①館内放送、誘導による在館者の保護
- ②エレベーターの緊急停止状況の確認と乗客の救助
- ③関係官庁への連絡
- ④来館者等における転倒の有無の確認と保護
- ⑤出火、ガス漏れなどの有無の確認と処置

(3) 盗難等発生時業務

- ①不法侵入者の確認
- ②人相、着衣、年齢、身長等の特徴把握
- ③テクノプラザ内の逃走経路の把握
- ④警察、センター職員への連絡

5 その他の業務

- (1) 警備員が交代するときは、業務を適正に遂行するために必要な事項を後任の警備員に確実に引き継ぐこと。
- (2) その他必要と認められる業務。

第2 防犯設備取付業務

1 防犯管理区分と管理方法

- ・ 科学技術振興センター・VRテクノセンター（以下「テクノプラザ」という。）内を57区分し、防犯管理区分を設け、それぞれに防犯異常探知器を取付ける。
- ・ 各区分（ブロック）が独自に警戒セット・解除の操作を、防犯異常探知器操作制御盤を通じて、専用のカード（非接触型ICカード）を使用することにより可能とする。

また、操作制御盤は1台につき4区分の管理を行う。区分数、防犯管理区分は下表のとおりである。

階	1階	2階	3階	4階	5階
管理区分数	9	16	18	11	8

操作制御盤	ブロック番号	階	ブロック名	操作制御盤	ブロック番号	階	ブロック名
A	1	5F	研究開発財団	I	30	3F	技術開発室 304
	2・3	5F	県工業会		31		技術開発室 303
			K-IT シティ・コンソーシアム	J	32	3F	技術開発室 302
B	4	5F	情報機器管理室隣室	K	33	3F	技術開発室 301
	5・7・8	5F	マイクロフィルム保管庫		34		2F
			図書資料室システムサーバー	35	技術開発室 214		
			科学技術図書資料室	L	36	技術開発室 213	
	6	5F	情報機器管理室		37	技術開発室 212	
C	9	4F	特別会議室	L	38	2F	技術開発室 211
	10		第1会議室		39		技術開発室 210
	11		第2会議室		40		リフレッシュコーナー
	12		第3会議室		41		技術開発室 209
D	13	4F	AV会議室	M	42	2F	技術開発室 208
	14		研修室		43		技術開発室 207
	15		開放研究室1		44		技術開発室 206
E	16	4F	開放研究室2	N	45	2F	技術開発室 205
	17		開放研究室3		46		技術開発室 204
	18		開放研究室4		47		技術開発室 203
	19		開放研究室5		48		技術開発室 202
F	20	3F	技術開発室 318	O	49	1F	技術開発室 201
	21		技術開発室 317		50		技術開発室 110
	22		技術開発室 316		51		技術開発室 109
	23		技術開発室 315		P		52
G	24	3F	技術開発室 314	53		1F	技術開発室 107
	25	技術開発室 313	54	技術開発室 106			
	26	技術開発室 312	Q	55・56	1F	VRテクノセンター、開発室	
H	27	3F	技術開発室 311	R	57	1F	VR工房
	28		技術開発室 306				
	29		技術開発室 305				

2 防犯主装置盤取付業務

(1) 防犯主装置盤の取付場所

テクノプラザ5階の防災センターの防犯主装置盤の取付場所に設置すること。

(2) 防犯主装置盤の規格及び台数

開口部の概寸が縦 2,400mm、横 698mm、奥行き 745mmで、防犯主装置盤の取付場所に収容可能な規格とし、台数は1台とする。

(3) 防犯主装置盤の機能

①防犯異常警報通報機能

管理区分毎に防犯異常警報等で監視できる機能を有すること。

②火災異常警報通報機能

施設付属設備機器により感知される火災異常警報の監視機能を有すること。

なお、防犯・火災異常警報の通報に要する回線は専用回線とし、その回線を管理すること（費用負担を含む。）。設置の際は別途協議すること。

3 防犯異常探知機器等取付業務

(1) 防犯異常探知機器取付業務

外部からテクノプラザ内部への侵入経路を完全に遮断し得るよう、防犯異常探知機器を取付けること。取付数は下表のとおりとする。

階	1階	2階	3階	4階	5階
インフレッツ [®] センサー	14	17	19	27	20
シャッターセンサー	0	0	0	9	0

(2) 防犯操作制御盤取付業務

各ブロックごとに警戒セット・解除の操作ができるように、防犯異常探知機器操作制御盤を取付けること。取付数は下表のとおりとする。

階	1階	2階	3階	4階	5階
取付個数	4	4	5	3	2

(3) その他

・防犯設備の補修又は交換等の維持に要する経費は負担すること。

第3 機械警備業務

1 防犯異常警報通報等業務

(1) 業務時間

24時間

(2) 業務内容

設置した機器により感知される防犯異常警報を受信したときは、直ちにテクノプラザ本館に派遣中の警備員に異常事態の内容を掌握させること。

その結果、必要と認めたときは直ちに警察機関に通報し、その出動を要請するとともに、警備員に異常事態の拡大防止に必要な措置を取らせること。

また、必要と認めたときは直ちに予め指定した緊急連絡先に通報すること。

2 火災異常情報警報等業務

(1) 業務時間

24時間

(2) 業務内容

施設付属設備機器により感知される火災異常警報を受信したときは、直ちにテクノプラザ本館に派遣中の警備員に火災異常の有無を掌握させること。

その結果、火災発生と認めたときは直ちに消防機関に通報し、その出動を要請するとともに、警備員に火災の拡大防止に必要な措置を取らせること。

また、直ちに予め指定した緊急連絡先に通報すること。

3 システム異常警報通報業務

(1) 業務時間

24時間

(2) 業務内容

設置した機器により感知されるシステム異常警報を受信したときは、直ちに予め指定した緊急連絡先に通報すること。

4 臨時警備業務

防犯設備取付業務が完了し、機械警備が適正に作動されるようになるまでの間、上記で定めた有人警備業務とは別に、24時間の臨時有人警備体制を取る。

そのため、通常機械警備業務で執行されるべき業務を臨時に執行するものとし、外部からテクノプラザ内部への侵入経路を完全に遮断し得るよう、適した人員配置を行うこと。

要領 1 4

テクノプラザ本館
受付案内業務実施要領

- (1) テクノプラザ本館の5階エントランスホールのインフォメーションカウンターに電話を設置し、利用者からの問い合わせに対応すること。ただし、イベントの開催、貸出施設の予約状況により館内の混雑が予想される場合には、インフォメーションカウンターに人員を配置するなどして臨機応変に対応すること。
- (2) 障がい者の案内・誘導を実施すること。
- (3) 警備業務受託者との連絡を密にして、来訪者の安全確保及び事故等の防止に努めること。また、火災等の緊急時には、来館者の非難誘導等を行なうこと

受付案内業務内容（一部要領 1 再掲）

電話対応	<ul style="list-style-type: none">貸出施設の空き状況確認の応答貸出施設設備内容（使用料等）の案内貸出施設の受付（新規予約、変更、取消、内容確認）
来客対応	<ul style="list-style-type: none">施設案内、施設説明、新規利用者への利用規則等の説明貸出施設の受付（新規予約、変更、取消、内容確認）
事務処理	<ul style="list-style-type: none">予約受付票の発行、受付利用申込書の受付、作成、確認（予約システムの操作による）
貸出当日処理	<ul style="list-style-type: none">利用状況の把握会議室の鍵の貸出・返却管理使用内容の変更対応（利用者への説明、利用承認変更申込書、利用承認変更通知書及び納入通知書の作成）使用料金の収納貸出備品の事前準備及び適正点検1階玄関への「本日の会議室利用案内」の作成掲示施設使用計画表（翌日分及び翌1週間分）の作成

○貸出物件として案内する対象の施設及び備品は（別紙）のとおり。

(別紙)

会議室貸出業務の対象施設及び備品一覧

施設

プラザホール、特別会議室、AV会議室、第1会議室、第2会議室、第3会議室、研修室

備品

名 称	数量	設置場所	点検事項	
拡声装置 (有線マイクを含む)	4台	通信機械室	・音は出るか ・有線マイクは必要か	
ワイヤレスマイク (マイクスタンド を含む)	ハンド型	4本	通信機械室	・電池はあるか ・予備電池はあるか
	タイピン型	4本	通信機械室	・マイクスタンドは必要か
テレビ	4台	研修室・第2会議 室・通信機械室・ 警備室	・延長コードは必要か	
ビデオ	4台	研修室・第2会議 室・通信機械室		
スクリーン	3本	通信機械室	・組み立てたか ・操作方法を伝えたか	
液晶プロジェクター	1台	通信機械室	・ケーブル、延長コードはあるか	
オーバーヘッドプロジェクター	2台	通信機械室	・組み立てたか ・延長コードは必要か	
スライド映写機	1台	通信機械室	・映るか ・操作方法を伝えたか	
CD付カセットテープ レコーダー	4台	通信機械室	・延長コードは必要か	
ホワイトボード	2台	通信機械室	・インクは薄くないか ・予備ペンはあるか	
延長コード	3本	通信機械室		

【貸出備品の事前準備確認事項】

- 各備品は所定の場所に定まった数量があるか。
- 各備品に不具合（外観）はないか。
- 各備品の点検事項を確認したか。

【貸出備品の後片付け確認事項】

- 各備品に不具合（外観）はないか。
- 各備品が所定の場所に定まった数量あるか。
- 乾電池等付属品は取り外してあるか。